

三重県の文化財保護

— 平成 14 年度 —



2004.3

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局 生涯学習分野 文化財保護チームが、平成14年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡斎宮跡及び埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、斎宮歴史博物館及び三重県埋蔵文化財センターが、別途年報として報告している。
- 3 市町村指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町村教育委員会からの報告をもとに記載した。

目 次

I 文化財の指定・登録	2 県費補助事業（県単独事業分）	33
1 国指定文化財の指定	(1) 建造物保存修理事業	33
2 登録有形文化財の登録	(2) 有形文化財保存整備事業	33
3 国指定文化財の解除	(3) 有形文化財保存修理事業	33
4 三重県文化財保護審議会	(4) 史跡等保存整備事業	33
5 三重県指定文化財の指定	(5) 有形民俗文化財修理事業	34
6 記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財の選択	(6) 民俗文化財伝承・活用等事業	34
7 三重県指定文化財の解除、並びに、 一部解除及び員数変更	(7) 指定文化財記録作成事業	34
8 市町村指定文化財の指定・解除	3 県費補助事業（国間接補助事業分）	35
	(1) 指定文化財管理事業	35
II 文化財の調査事業	4 熊野古道世界遺産登録推進事業	35
1 特別天然記念物カモシカ調査	5 ふるさと文化再興事業	36
(1) 特別天然記念物カモシカ通常調査	6 民間等による助成	37
(2) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに 保護行政担当者会議	IV 文化財の管理・普及	
2 天然記念物ネコギギ緊急調査	1 登録審査	38
3 近世亀山藩関係史料史料調査	(1) 銃砲刀剣類登録審査会	38
4 桑名松平伝来資料史料調査	(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会	38
5 埋蔵文化財詳細分布調査等	(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会	38
6 埋蔵文化財緊急発掘調査	2 文化財の管理	39
(1) 国史跡斎宮跡緊急発掘調査	(1) 指定文化財説明板設置	39
(2) 県営ほ場整備事業等発掘調査	(2) 文化財パトロール	39
(3) 市町村遺跡発掘調査	(3) 文化財保護にかかる会議	41
7 民俗文化財の調査	(4) 発掘調査届・通知等	42
	(5) 埋蔵物の文化財認定	44
III 文化財の保護事業	(6) 出土文化財の譲与	47
1 県費補助事業（国補助事業分）	3 国・県指定文化財の現状変更等	47
(1) 建造物保存修理事業	(1) 国指定文化財現状変更等	47
(2) 伝統的建造物群保存事業	(2) 県指定文化財現状変更等	50
(3) 美術工芸品防災施設事業	4 文化財の公開・普及	52
(4) 美術工芸品保存修理事業	(1) 文化財関係の受賞	52
(5) 重要無形文化財保持団体補助事業	(2) 文化財講習会	52
(6) 史跡等保存整備事業	(3) 第44回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会	52
(7) 歴史の道整備活用推進事業	(4) 紀伊半島民俗芸能祭	52
(8) 史跡等買上げ事業	(5) 文化財保護強調週間行事	53
(9) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業	(6) 文化財防火デー関連行事実施状況	54
(10) 文化財等保存活用施設整備事業		
(11) 天然記念物食害対策事業		

[表紙 小俣町共敬社 かんこ踊り]

[裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数]

I 文化財の指定・登録

1 国指定文化財の指定

- ・種 別 重要文化財（建造物）
- 名 称 神宮祭主職舎本館（旧慶光院客殿）
- 員 数 1 棟
- 構造・規模 木造、入母屋造、本瓦・檜皮・銅板葺、桁行23.3m梁間18.5m
- 時 代 江戸時代前期
- 所 在 地 伊勢市宇治浦田1丁目1-29
- 所 有 者 神 宮
- 指定基準 建造物の部（一）意匠的に優秀なもの（三）歴史的価値の高いもの
- 指 定 日 平成14年12月26日（文部科学省告示第212号）
- 概 要

神宮祭主職舎は、五十鈴川沿いの内宮門前町に所在する神宮祭主滞在のための施設である。

祭主職舎本館は、室町時代後半の混乱期に神宮の式年遷宮が中断した時、その再興に尽くし慶安2（1649）年までの正遷宮を江戸幕府の朱印状を得て取り仕切った慶光院の客殿として建築された。明治2年に慶光院が廃寺となって以降、神宮の所管となり、神宮司庁舎・祭主職舎として利用されて現在に至り、平成9年3月7日には同じ敷地内の勝手所・表門とともに三重県指定有形文化財（建造物）に指定された。

本館の建築年代は明確ではないが、江戸時代前期とみられる。桁行23.3m梁間18.5m、入母屋造、本瓦葺で、主屋の南面東端に切妻造の中門が突出するように設けられ、東正面には明治期の改修により檜皮葺の車寄が付設されている。

内部は三室を前後2列に配する六間取りの母屋の周囲に幅広い庇が巡らされ、母屋の後列西端に大床や違棚や書院などを完備する上段、上々段の間が設けられている。明治・昭和期に改修された部分もあるが、主要な部分は建築当初の形をよく残している。

主屋に中門を突出させた、いわゆる主殿の様式を残す稀少な例であり、また、大規模で太く良好な材料を用い、本瓦葺の大きな破風を正面にみせる重厚なつくりで、対面の場として完成された空間構成をもっている。近世初期に遡る正統かつ本格的な客殿として貴重な建築である。

- ・種 別 重要文化財（建造物）
- 名 称 諸戸家住宅
- 員 数 6 棟
- 構造・規模 主 屋：木造一部2階建、本瓦・棧瓦・銅板葺ほか、建築面積333.88㎡
主体部・仏間・茶室・洋室からなる
- 表 門：一間一戸薬医門、両側袖壁付き、本瓦葺
- 玄関及び座敷：木造、棧瓦葺、建築面積274.02㎡
- 広 間：木造、棧瓦・銅板葺、建築面積269.43㎡
- 附 棟札 明治貳拾四年十二月二十八日
- 洋 館：木造、棧瓦葺、建築面積86.93㎡
- 玉突場：木造、鉄板葺、建築面積74.16㎡
- 時 代 明治～大正時代
- 所 在 地 桑名市太一丸
- 所 有 者 財団法人 諸戸会
- 指定基準 建造物の部（一）意匠的に優秀なもの
- 指 定 日 平成14年12月26日（文部科学省告示第212号）
- 概 要

諸戸家住宅は、近代桑名の豪商諸戸家の基礎を一代で築いた初代諸戸清六が明治18年に屋敷地を

購入して居宅兼事務所として建設し、順次整備されたものである。

今回、諸戸家住宅として、重要文化財の指定された建造物は、主屋、表門、玄関及び座敷、広間、洋館、玉突場の6棟で、いずれも、明治～大正時代に建築された邸内の主要な建造物である。敷地の中央部南面に主屋、表門が位置し、西部に北側から広間、玄関及び座敷、洋館が連続し配され、やや離れて玉突場が建てられている。

主屋は、明治20年頃の建築とされ、木造一部2階建、寄棟造で、外壁は黒漆喰塗、南面する正面側は1階のほぼ中央を玄関、左右を太い格子窓とし、2階には虫籠窓を開く重厚な外観となっている。玄関と土間廊下を境に1階の正面側を事務室、背面側を主人の居室、2階を使用人の居室としていた。また、大正期にかけて、主屋の背後には仏間、伴松軒と称する茶室、東側面には繊細な意匠をもつ洋室が増築されている。

主屋の南西にある表門は、明治中期の建築とされる本瓦葺の薬医門で、両側に袖壁が付く。

玄関及び座敷は、木造平屋建、入母屋造、棧瓦葺で、東面の玄関には車寄が突出し、玄関脇に書院を設け、背後の西側には配膳室等が配される。明治中期の建築と考えられている。

広間は、棟札から明治24年の上棟と判明しており、木造平屋建、入母屋造、棧瓦葺で、四周に一段下がった庇が巡っている。内部は北側を上座として32畳の主室と24畳の次の間を配し、周囲に畳廊下・板敷の縁が廻されている。主室・次の間は高い格天井、大床・棚などの座敷飾りに加えて、群青地に金雲をあしらった襖や張付壁、精巧な釘隠・襖引手を用い、重厚感がある豪華なつくりとなっている。また、建物の床が高く、庭園に面する東縁は主室・次の間境に柱を立てるのみで、中間の柱を省略して眺望を確保している。

洋館は広間と同時期のものと考えられ、木造平屋建、寄棟造、棧瓦葺で、御影石の高い基礎の上に建ち、外壁は下見板張である。

玉突場は、木造平屋建、切妻造、鉄板葺で、外壁は下見板張の簡素な構造である。

明治・大正期の地方実業家の住宅である諸戸家住宅は、居住・事務・接客の各空間が複合する近代の建築群全体がよく残り、伝統的な意匠・技法を基調とする豪華なつくりの主屋や広間などと、新しい技法の洋館や精巧な意匠をもつ主屋洋室などが違和感なく融合して屋敷を構成しており、質の高い近代の邸宅建築として重要である。

・種 別 史 跡（史跡の分離・追加指定・名称変更による）

名 称 熊野三山

所 在 地 三重県関係：南牟婁郡紀宝町鮎田字右市ヶ鼻1521（御船島）

面 積 三重県関係：2,654㎡

所 有 者 三重県関係：宗教法人 熊野速玉大社

指 定 基 準 史跡名勝天然記念物指定基準 史跡の部三（社寺の跡ほかに関する遺跡）による

指 定 日 平成14年12月19日（文部科学省告示第207号）

概 要 熊野三山は、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社のことを示し、それぞれが自然崇拜による固有の祭祀起源を持つが、10世紀後半には互いに他の二社の祭神を合祀し、「熊野三山」の信仰体系が成立している。11世紀には「熊野三所権現」として日本第一の靈験として、多くの参詣者が訪れることとなる。神仏習合の醸成された場所でもあり、我が国の信仰の歴史を考える上で貴重である。

今回、「史跡熊野参詣道」（平成12年11月指定）のうち熊野本宮大社旧社地の大斎原と熊野那智大社境内、青岸渡寺境内、補陀洛山寺境内を分離し、「熊野三山」と名称変更し、新たに熊野本宮大社現社地と熊野速玉大社境内を追加して指定された。

三重県関係としては、熊野速玉大社の境内地の一部として、熊野川中州の無人島である「御船島」が指定された。御船島は、熊野速玉大社の祭礼の場で、毎年10月16日には熊野速玉大社の主祭神が「神幸船」で御船島に渡る「御船祭」が行われ、島の周辺では「早船」による競争や「諸手船」の上での「ハリハリ踊り」が舞われるなどにしえを偲ばせる祭りが行われる。

・種 別 史 跡 (史跡の分離・追加指定・名称変更による)

名 称 熊野参詣道

中辺路 大辺路 小辺路 伊勢路 熊野川 七里御浜 花の窟

所 在 地	三重県関係：ツツラト峠道：度会郡大内山村志子谷から北牟婁郡紀伊長島町島原間	1.4km
	荷坂峠道：北牟婁郡紀伊長島町東長島地内	0.9km
	三浦峠道(熊ヶ谷道)：北牟婁郡紀伊長島町道瀬から同町三浦間	1.5km
	始神峠道：北牟婁郡紀伊長島町三浦から同郡海山町馬瀬間	1.7km
	馬越峠道：北牟婁郡海山町相賀から尾鷲市北浦町間	2.6km
	八鬼山道：尾鷲市矢浜大道から同市名柄町間	7.5km
	三木峠道 羽後峠道：尾鷲市三木里町から同市賀田町間	2.2km
	曾根次郎坂・太郎坂：尾鷲市曾根町から熊野市二木島町間	4.2km
	二木島峠道 逢神坂峠道：熊野市二木島町から同市新鹿町間	3.0km
	波田須の道：熊野市波田須町地内	0.3km
	大吹峠道：熊野市波田須町から同市磯崎町間	1.4km
	観音道：熊野市大泊町地内	0.9km
	松本峠道：熊野市大泊町から同市木本町間	0.7km
	横垣峠道：南牟婁郡御浜町神木から同町阪本間	1.8km
	風伝峠道：南牟婁郡御浜町川瀬から同郡紀和町矢の川間	1.8km
	本宮道：南牟婁郡紀和町矢の川地内	0.9km
	小栗須から小川口	0.6km
	小栗須から湯ノ口	0.2km
	湯の口から大河内	0.4km
	楊枝川地内	0.2km
	熊野川：南牟婁郡紀和町小船地内から同郡紀宝町鮎田地内	21.0km
	七里御浜：熊野市井戸町から南牟婁郡鶴殿村	18.0km
	花の窟：熊野市有馬町字上ノ地130-1、130-2、130-3	19,707㎡

面 積 三重県関係：710,000㎡

所 有 者 三重県関係：国・市町村・個人ほか

指 定 基 準 史跡名勝天然記念物指定基準 史跡の部六(交通・通信施設ほかに関する遺跡)による

指 定 日 平成14年12月19日(文部科学省告示第207号)

概 要 熊野参詣道は、古代末から近世・近代に至るまで、貴顕のみならず一般庶民までが熊野三山への信仰と憧憬によって歩んだ道であり、我が国の歴史ならびに社会・文化を考える上で欠くことのできない交通遺跡である。

熊野に至るルートは大きく3つに分けられる。第一は紀伊半島の西側を通る「紀路」で、これは途中で内陸を通る「中辺路」と海岸を通る「大辺路」に分かれる。第二は紀伊半島の東側を通る「伊勢路」、第三は高野山と熊野三山を結ぶ「小辺路」である。このうち、「紀路」と「伊勢路」の名称は平安時代後期の『梁塵秘抄』に「熊野へ参るには 紀路と伊勢路のどれ近し どれ遠し 広大慈悲の道なれば 紀路も伊勢路も遠からず」と見られる。また、10世紀後半～11世紀前半の増基法師の作とされる紀行文『いほぬし』では、紀路を通して熊野三山に参詣し、帰りに「花の窟」に立ち寄っていることがわかる。

熊野三山への参詣は、平安時代の上皇・法皇や貴族層から始まり、室町時代には「蟻の熊野参り」と称される最盛期を迎える。この頃、盛んに利用されたのが「中辺路」で、熊野本宮大社と熊野速玉大社との往復には「熊野川」の船運が利用された。その後、江戸時代になると、西国巡礼者が伊勢神宮への参拝後、「伊勢路」を通して西国巡礼の一番札所である那智山「青岸渡寺」へ向い、巡礼途上に熊野三山にも詣でるようになる。

今回「史跡熊野参詣道」から熊野本宮大社旧社地等を分離し、参詣道として良好に保存されている中辺路(追加分)・大辺路・小辺路・伊勢路・熊野川・七里御浜・花の窟が追加指定された。

三重県関係としては、「伊勢路」、「熊野川」、「七里御浜」、「花の窟」があり、史跡本体のみならず、周辺の景観とあいまって高い価値をもつことが評価されたものであるが、「七里御浜」と「熊野川」は、海浜・川の史跡指定としては景観に視点を置いた全国初の取り組みである。

- ・種別 名勝
名称 諸戸氏庭園
所在地 桑名市太一丸18番地ほか
面積 10,481.41㎡
所有者 財団法人 諸戸会
指定基準 史跡名勝天然記念物指定基準 名勝の一部（公園、庭園）による
指定日 平成14年12月19日（文部科学省告示第203号）
概要 諸戸氏庭園は、重要文化財（建造物）諸戸家住宅の邸宅庭園である。江戸時代の庭園をもとに近代桑名の豪商諸戸清六が拡張整備を手がけたもので、邸宅中央部の旧山田氏林泉と呼ばれる区域と、これに接する西部の広間（御殿）の前に広がる区域が庭園の主要部を形成している。
- 邸宅中央部の区域は、『久波奈名所図会』（享保2（1802）年）に山田氏林泉としてみえる近世桑名の豪商山田氏邸宅の主庭であったものを、明治時代に諸戸清六が購入、拡張改修したもので、東西に広がる花菖蒲（もと杜若）池は、池畔に大きな庭石を豊富に使用し、また、南岸から中島を経て北岸の蘇鉄山へは八ツ橋の石橋が架けられ、見応えある石組景観を構成している。池の東には大きな藤棚を伴う藤茶屋、西には推敲亭（昭和30年に県指定有形文化財）、主屋に付属する伴松軒といった茶室が配され、開放的な茶会庭園としての趣をもっている。
- 邸宅西部の区域は、清六が広間等を建築した時に、広間の東正面に新たに作られたもので、広間から全体を見下ろすように作られた池庭は、敷地を廻る溝渠を通しての潮の干満により、水位が上下する汐入り形式で、巧みに配された岸の石組みが約1.5mの高低差で2段構成となり、水位によって下段の州浜等が見え隠れする趣向となっている。池庭を一周する園路には石橋、枯滝石組等が配置され、奥の青石貼りの築山は独創的である。また、東京の旧岩崎家深川別邸（清澄庭園）などと共通するところもあり、明治時代の有力者の邸宅にみられる豪壮な広間建築と一体となった池庭の特徴を備えている。
- 近世から伝わった庭園を整備した旧山田氏林泉と、新たにつくられた明治期の特徴をもつ汐入り池庭とが一つの邸宅庭園として構成されており、明治時代後半に豪商が築造した庭園として優秀なものと言える。

- ・種別 天然記念物（地質鉱物）
名称 月出の中央構造線
所在地 飯南郡飯高町大字月出字ハサビ562-1
面積 12,547.39㎡
所有者 沖中由治 国土交通省（管理者：三重県）
指定基準 地層の褶曲及び衝上、地震断層など地塊運動に関する現象
指定日 平成14年12月19日（文部科学省告示第204号）
概要 中央構造線は、関東から中部・近畿・四国を経て九州まで、ほぼ東西に連続する我が国第一級の大断層であり、延長は1,000kmにも及んでいる。地質学的には、断層北側の西南日本内帯と呼ばれるカウ岩を主体とする地域と南側の西南日本外帯と呼ばれる変成岩地域の境界を成す断層である。活動時期は約1億年前の中生代白亜紀に遡るとされ、わが国の成り立ちを語る上で欠かせない。
- 「月出の中央構造線」の断層露頭は飯高北奥林道の直下にあり、高さ約80m、幅約50mに達している。この断層露頭は、平成7年度からの三重県治山事業による土砂の除去作業により出現したものである。断層面はほぼ東西で北に60度程度傾斜している。断層を挟んで北側は西南日本内帯の白色のカウ岩類に由来するマイロナイト、南側は西南日本外帯の黒色片岩起源で、色彩の違いからも断層が簡単に認識できる。観察路や説明板などの整備も行われており、安全に観察できる。

2 登録有形文化財の登録

- ・名称 松阪市文化財センター（旧カネボウ綿糸松阪工場綿糸倉庫）
員数 1棟
所在地 松阪市外五曲町1
構造・形式 煉瓦造平屋建、鋼板葺、建築面積1,044㎡
年代 大正12年
所有者 松阪市
登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
登録日 平成14年6月25日（平成14年7月26日付け、文部科学省告示第154号）
登録番号 24-0044
特徴・評価 大正12年に設立された旧鐘淵紡績松阪支店（その後改称等により旧カネボウ綿糸松阪工場、平成5年4月操業停止）の原綿製品倉庫として建設されたものである。
レンガ造の平屋建て切妻造で、規模は桁行約74m、梁間10.6m、内部は4室に区画され、正面（北面）には片流れの庇が付く。外壁はイギリス積みのレンガ造で、間隔を於いて柱型（柱の突出部）が現され、当時の長大な外観を良くとどめている。
松阪市が取得した後、補強・改修され、現在、松阪市文化財センターの展示室・ギャラリー・収蔵庫として利用されている。
大正期の建築物として、長大なレンガ造の美しい景観を残している。

- ・名称 田垣内家住宅石蔵
員数 1棟
所在地 熊野市五郷町桃崎345
構造・形式 石造2階建、瓦葺、建築面積29㎡
年代 大正12年
所有者 田垣内 康夫
登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
登録日 平成14年6月25日（平成14年7月26日付け、文部科学省告示第154号）
登録番号 24-0045
特徴・評価 熊野市の山間部に位置する五郷町にある田垣内家の宅地北西隅に東面して建っている。
近郷から産出する花崗岩を加工した切石による石造2階建の道具蔵で、寄棟造、棧瓦葺、明治時代中頃の建築と伝えられている。平面形は1辺約5mのほぼ正方形で、内部は樺・杉材による内装となっている。
小規模ながら、外面の1・2階の間には胴蛇腹（帯状の突出部）、軒下には軒蛇腹を廻し、出入口には切妻のポーチを付けるなど凝った意匠の外観で、集落の中でもひととき目立つ存在となっている。

- ・名称 旧四日市市立図書館
員数 1棟
所在地 四日市市諏訪栄町22-25 諏訪公園内
構造・形式 鉄筋コンクリート造2階建、建築面積197㎡
年代 昭和4年
所有者 四日市市
登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
登録日 平成15年1月31日（平成15年2月26日付け、文部科学省告示第26号）
登録番号 24-0046
特徴・評価 近鉄四日市駅に近い諏訪公園の北西隅にある旧四日市市立図書館は、四日市銀行の頭取などを歴任した実業家 熊澤一衛によって、昭和4年に建築されたもので、竣工後、図書2,000冊と共に四日

市市へ寄付されたものである。一時期、戦災負傷者を収容する市立病院に転用されたが、昭和48年まで図書館として機能し、現在は四日市市こどもの家として活用されている。

この建物は、鉄筋コンクリート造2階建てで、基本的に左右対称型の構成であるが、屋上の東端に塔状のペントハウスが付設され、南面中央部に正面玄関を突出させ、また、両側面には張出部を配して動的な力強さを加えている。

外壁は全体的に浅い溝彫りを付けた褐色のスクラッチタイル貼りで、建物基礎部分と柱型上部を白色のセメントモルタル洗出仕上げとして、色彩的なコントラストを作りだしている。柱型の頂部は軒蛇腹より上に突出して垂直性を強調し、軒蛇腹にはテラコッタ製の装飾を付けている。正面玄関上をバルコニー状とし、2階の南面両端の窓下には小さな露台を設け、さらに、玄関上部小壁の小さなレリーフや玄関の花模様をあしらった鉄製飾扉は、この建物の装飾性を高めている。

この建物は、三重県内では数少ない初期の鉄筋コンクリート造りの建築であり、昭和初期の建築構造・意匠の特徴をよく伝えている貴重な事例である。また、事業に成功した篤志家が収益の一部を地域社会に還元するために四日市市へ寄贈されたものであり、その後、永く図書館などの公的施設として市民に親しまれ続け、地域の景観の重要な構成要素となっている。

・名称 三重大学レーモンドホール

員数 1棟

所在地 津市上浜町1515

構造・形式 木造平屋建、鉄板葺、建築面積230㎡

年代 昭和16年

所有者 国（文部科学省）

登録基準 二 造形の規範となっているもの

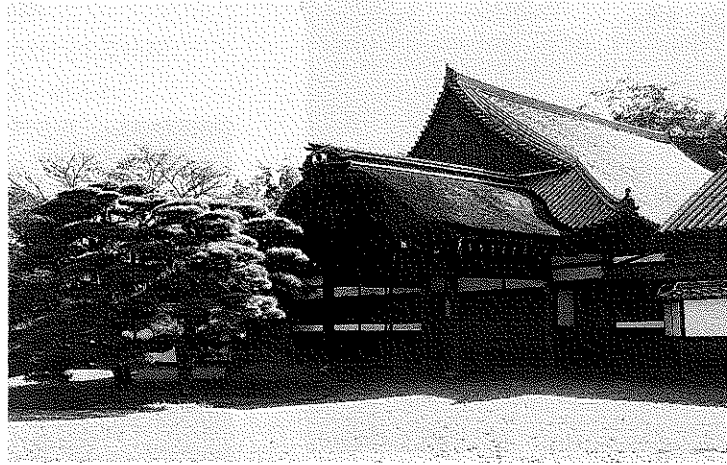
登録日 平成15年3月18日（平成15年4月8日付け、文部省告示第69号）

登録番号 24-0047

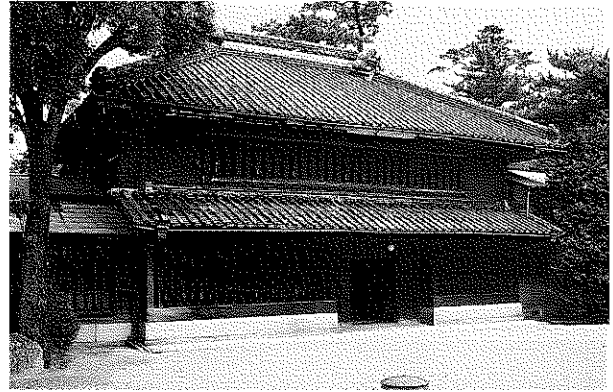
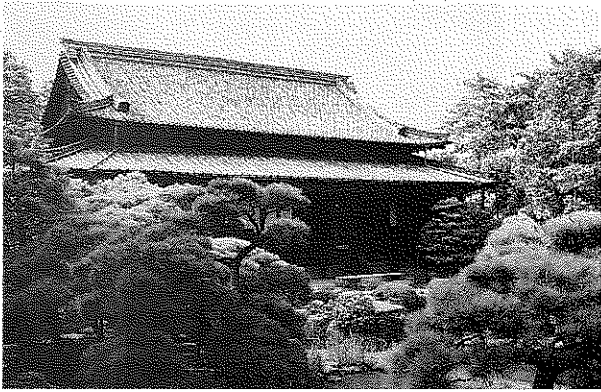
特徴・評価 三重大学レーモンドホールは、津市大谷町にあった三重県立大学構内に、昭和26年同大学の附属図書館として建築されたものである。昭和34年頃からは附属図書館水産分館となり、昭和44年の大学移転ともなって現在地に解体移転され、以降、食堂として利用された。その後、県立大学から三重大学へ移管後も、引き続き食堂として機能したが、昭和51年頃からは展示物の保管場所となり、現在に至っている。

木造平屋建てで、平面形は約25.5m×約9.1mの単純な長方形であり、軒の出の深い緩やかな鉄板葺切妻造の屋根が架かる。北面には出入口とガラス窓、南面は全面に引き違いのガラス戸が用いられ、極めて開放的な外観となっている。柱・棟木・垂木・梁などの構造材には、丸太材が多く使用されている。

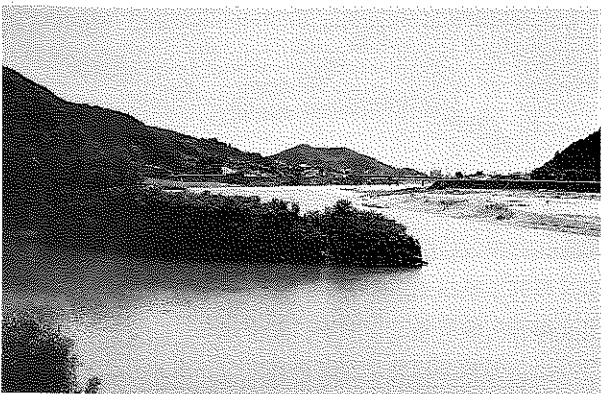
アントニン・レーモンドの設計で、開放的な外観や丸太材を用いる構造を特徴としており、レーモンドが戦後試みた、小径の丸太材を構造材とする一連の木造建築の中でも、麻布自邸（東京都港区 昭和26年）に続く早期の作品で、戦後の木造建築デザインの好例と言える。



神宮祭主職舎（旧慶光院客殿）



諸戸家住宅（左：広間、右：主屋）



熊野三山（御船島）



熊野参詣道（左：七里御浜、上：馬越峠道）



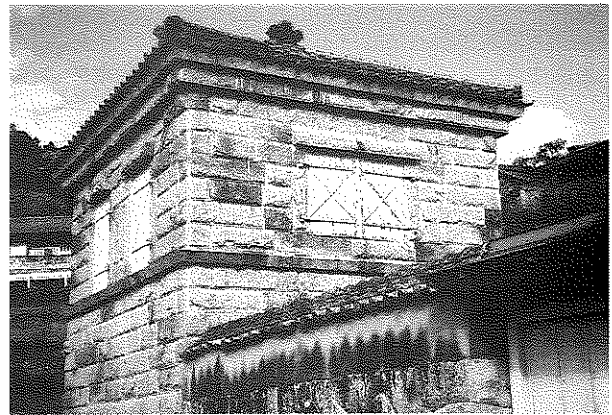
諸戸氏庭園



月出の中央構造線



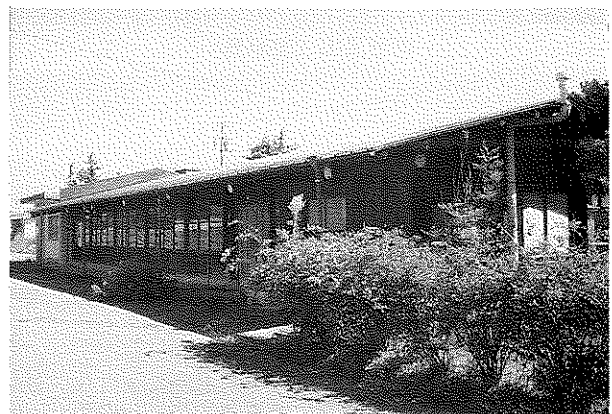
松阪市文化財センター（旧カネボウ綿糸松阪工場綿糸倉庫）



田垣内家住宅石蔵



旧四日市市立図書館



三重大学レーモンドホール

3 国指定文化財の解除

- ・種 別 無形文化財（工芸技術）
- 名 称 伊勢型紙 糸入れ
- 保 持 者 城ノ口 みゑ
- 解 除 日 平成15年1月16日（平成15年5月27日付け文部科学省告示第95号）
- 理 由 保持者死亡

4 三重県文化財保護審議会

- ・三重県文化財保護審議会委員

氏 名	担当分野	現 職
鈴木 嘉吉	建造物	元 奈良国立文化財研究所長
菅原 洋一	建造物	三重大学助教授
河原 由雄	絵画・工芸	愛知県立大学教授
河田 貞	絵画・工芸	帝塚山大学教授
水野 敬三郎	彫 刻	東京芸術大学名誉教授・新潟県立近代美術館長
熊田 由美子	彫 刻	立命館大学講師・東京芸術大学奈良古美術研究室研究員
赤川 一博	彫 刻	四日市市立博物館主幹（学芸員）
稲本 紀昭	文 書	京都女子大学教授
恵良 宏	文 書	皇学館大学教授
岡田 照子	民 俗	岐阜女子大学名誉教授（副会長）
植木 行宣	民 俗	京都学園大学教授
八賀 晋	史跡・考古	三重大学名誉教授（会長）
本田 裕	地質鉱物	三重大学助教授
南川 幸	植 物	名古屋市立女子短期大学名誉教授
伊藤 進一郎	植 物	三重大学助教授
角田 保	動 物	元 三重短期大学教授
名越 誠	動 物	奈良女子大学名誉教授・東大阪短期大学教授

第1回審議会

- 期 日 平成14年11月13日（水）
- 場 所 松阪市文化財センター（松阪市五曲町）
- 内 容 諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問
 審議 平成14年度 三重県指定候補文化財の選考及び調査について
 平成13年度 三重県指定候補文化財の調査報告について
 三重県指定文化財の解除について
 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申
 報告 平成14年度 文化財保護事業について
 国指定文化財の指定等について
 国・県指定文化財の現状変更等について
 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録推進について
- 視察 国登録有形文化財 松阪市文化財センター（旧カネボウ綿糸松阪工場綿糸倉庫）
 国史跡 宝塚古墳出土埴輪及び整備事業現地

第2回審議会

- 期 日 平成15年2月27日（木）
- 場 所 三重県勤労者福祉会館 特別会議室（津市栄町）
- 内 容 審議 平成14年度 三重県指定候補文化財の調査報告について

平成14年度 三重県指定文化財の指定等について

答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申

報告 国指定文化財の指定等について

「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録にむけた取組について

国・県指定文化財の現状変更等について

5 三重県指定文化財の指定

- ・種別 有形文化財（建造物）
- 名称 御城番屋敷
主屋東棟 主屋西棟 土蔵
- 員数 3棟
- 構造・規模 主屋東棟 木造平屋建、切妻造棧瓦葺、桁行50間梁間5間、東面に角屋12棟付属
主屋西棟 木造平屋建、南面切妻造北面入母屋造棧瓦葺、桁行46間梁間5間、西面に角屋10棟付属
土蔵 木造二階建、切妻造棧瓦葺、桁行12間半梁間3間、南面及び西面土庇棧瓦葺
- 時代 江戸時代（主屋東・西棟：文久3年、土蔵：江戸時代後期）
- 所在地 松阪市殿町1381、1383-1、1384、1385番地
- 所有者 合資会社 苗秀社
- 告示 三重県教育委員会告示第43号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 建41

概要 御城番屋敷の武士は、初代紀州藩主徳川頼宣以来、直属の家臣として紀州田辺に配置されてきたが、自家の家臣に組入れようとする紀州藩筆頭家老の田辺城主安藤氏と対立して、安政3年（1856）に脱藩浪人の後、文久3年（1863）に再度紀州藩士として召抱えられ、新設された松坂城番の職に就いた。

御城番屋敷はこの松坂城番20家の松坂来住に当たって、城内三之丸に新築された2棟の組屋敷である。現在は、その子孫で構成する合資会社苗秀社の所有となっている。

市道を挟んで並び立つ、東西2棟の主屋は、棧瓦葺平屋建で、各戸は間口5間、奥行5間を標準として、これを桁行方向に東棟10戸、西棟9戸分（明治後期に1戸分撤去、本来は10戸）連ね、背面には各戸の便所や炊事場にあてる角屋が張り出す。各戸の平面は、向って右手を1間幅の土間とし、左手は田の字型に8畳・6畳各2室の4室として、その前後に縁を設けている。前庭側の2室は表向きの性格が強く6畳前面では縁に代えて式台を構え、上手の表8畳には床を設け接客用の座敷としている。市道に面する表側は、槇垣で囲い各戸ごとの前庭を設け、敷地裏側は各戸の角屋端の位置を板塀などで囲って裏庭とし、その背後は畑地を設ける。

土蔵は明治初期に松坂城隠居丸の米蔵を移築したと伝え、建築年代は明確ではないが、江戸時代後期の建築と見られる。

御城番屋敷は、旧山内家下屋敷長屋（高知県高知市、元治頃、重要文化財）、旧新発田藩足軽長屋（新潟県新発田市、天保13年、重要文化財）などと比較しても住居としての質も充実し、全体規模、各戸の規模ともに最大級であり、小路を挟んで2棟からなる構成も他に例がない。年代や由緒が明確であり、建設当初の居住者の子孫によって、敷地全体が良好に維持され、かつての武士たちの生活の様相をよく窺い知ることができ、貴重である。また、土蔵は明治初年に松坂城米蔵を移築したと伝えるものであるが、形式的、年代的に矛盾なく、松坂城関連の遺構として貴重である。

- ・種別 有形文化財（彫刻）
- 名称 木造大日如来坐像
- 員数 1躯
- 時代 平安時代後期（12世紀後半）
- 所在地 津市大字垂水831

所有者 成就寺 代表役員 白山良秀（管理者：垂水自治会）
告示 三重県教育委員会告示第43号
指定日 平成15年3月17日
指定番号 彫105

概要 腹前で左上に右手を重ね（法界定印）、右足を上にして結跏趺坐する胎藏界の大日如来坐像である。硬質なヒノキ材もしくはカヤ材の割矧造で、像高94.4cm。平安時代後期（12世紀後半）の作とみられる。

穏やかではあるが比較的はっきりとした端正な面貌など、典雅な都ぶりを示す、県内で数少ない遺例である。

やや猫背ぎみの側面観は平安時代後期の特色を示すものであるが、胸、腹の肉付けは、腹部で両脇を絞り込んだ引き締まった正面観と合わせて、豊かな量感をあらわし、奥行をよく意識した作者の新しい感覚が伺える。

さらに、両腕は後補であるものの、それ以外の部位の保存状態は良好で、制作時の造形をよく伝えていること、また、錐点の数が多く残っていることも、造像技法上注目され、平安時代後期の県内の作例中でも注目すべき像である。

・種別 有形文化財（彫刻）
名称 木造阿弥陀如来坐像
員数 1 軀
時代 平安時代後期（12世紀後半）
所在地 上野市守田町1194
所有者 九品寺 代表役員 別所泰広
告示 三重県教育委員会告示第43号
指定日 平成15年3月17日
指定番号 彫106

概要 来迎印を結び右足を上にして結跏趺坐する木造阿弥陀如来坐像である。ヒノキの割矧造で、像高89.5cm。平安時代後期（12世紀後半）の作である。

幅広く薄い膝、抑揚をおさえた胸など平安時代後期の作風をもつが、その一方で、やや高めの肉髻や粗めの螺髪（髪際で26条）、ややバランスを崩した頭部と体部の比率、あるいは極度に下向きの弧をもつ眼など強さに対する志向が認められる。

特に張りのある強い表現は鎌倉時代、殊に慶派などの南都系仏師の造像によく見られるもので、当時の伊賀が南都の影響を受けていたことを示している。

以上の点から本像は、平安時代後期の様式変動期の造像例といえ、当地における南都の影響をうかがわせる作品として重要である。

・種別 有形文化財（書跡）
名称 谷川士清関係資料
附 谷川順端（義章）書状など 6 通
員数 14件（22点）
時代 江戸時代
所在地 津市丸之内9-18
所有者 財団法人 石水会館石水博物館 館長 川喜田貞久
告示 三重県教育委員会告示第43号
指定日 平成15年3月17日
指定番号 書53

概要 谷川士清（宝永6年（1709）～安永5年（1776））は、津に生まれ、生涯にわたり、市井にあって家業である医業に従事しつつ、国学の研究・進歩に大きな貢献をした学者であり、本居宣長と並

び称される伊勢の生んだ二大国学者の一人である。その業績は国史の実証的注釈を行った『日本書紀通証』、我が国最初の五十音順国語辞典である『倭訓栞』に代表される。

石水博物館所蔵の谷川士清関係資料は、『倭訓栞』稿本・『恵露草』などの著書3件、『玉籤集』などの自筆の書写本4件、士清の書簡及び士清への来簡5件、『歌切』など2件の計14件に区分される。

とりわけ、士清の業績を代表する『倭訓栞』の稿本は、初稿本ではないが、再訂ないし三訂本と考えられ、膨大な清書本（版本：82冊）『倭訓栞』に至る彼の学問的努力、形成過程が窺われる貴重な史料である。また、書写本は、神道書などの士清自筆の書写によるもので、山崎闇斎の影響を深く蒙っている彼の学問・思想を語るものとして重要であり、書簡・来簡は彼の学問、人物像さらに彼の交友関係を知るうえで重要である。

士清研究は、同時代の学者からの彼の評価が低かったからか、これまで研究が十分なされていないとは言い難い面があり、その上、彼の学統が断えたためか、彼の資料は散逸しており、この面でも士清研究を困難にしている。

このような現状に於いて、本資料群は、一部の来簡をのぞき、いずれも士清の自筆にかかわるままとまったものとして、また、彼の学問の形成過程を研究するうえで重要な位置を占める貴重なものである。

- ・種別 有形文化財（書跡）
名称 本居宣長自筆書状
本居宣長書状 4巻89通 賀茂真淵宛書状案 1巻1通
員数 5巻 90通
時代 江戸時代 <天明5年（1785）頃～享和元年（1801）頃>
所在地 津市丸之内9-18
所有者 財団法人 石水会館石水博物館 館長 川喜田貞久
告示 三重県教育委員会告示第43号
指 示 三重県教育委員会告示第43号
指 定 日 平成15年3月17日
指 定 番 号 書54
概 要 近世国学の大成者として著名な本居宣長（享保15年（1730）～享和元年（1801））の自筆にかかる書状群で、もと津京口町の豪商・薬種問屋小西家に伝来したものである。
本居宣長書状は、宣長の次男栄次郎（春村）が小西家5代目太郎兵衛政盈の許に養子に入り、小西家を継いだ関係から、4代目浄味、5代目政盈、栄次郎に宛てられた89通の書状群である。
内容は私事にわたるものが多く、特に、宣長の長男春庭が失明してからは、宣長の栄次郎への依存度は高くなり、様々な事象を書き送っているが、それ故、きわめて人間的な一人の父親としての宣長像がうかがえ、彼の経済状態、交友関係等がよくわかり、宣長研究にとって貴重な史料群である。また、数量的にも、これ程まとまって保存されていることは貴重である。なお、宣長研究者のいう「繁忙期」で特に書状類が少ない天明年間の書状6通が含まれている点も注目される。
賀茂真淵宛書状案は、真淵に対する謝罪文として著名であるが、正文は現存せず、草案である本資料のみが伝えられている。宣長の自筆であることは疑いなく、宣長研究の貴重な資料である。

- ・種別 有形文化財（考古資料）
名称 馬形埴輪（石薬師東古墳群63号墳出土）
員数 1点
時代 古墳時代中期（5世紀末）
所在地 多気郡明和町竹川503
所有者 三重県（管理 三重県埋蔵文化財センター）
告示 三重県教育委員会告示第43号
指 示 三重県教育委員会告示第43号
指 定 日 平成15年3月17日

指定番号 考21

概要 平成5年度から8年度にかけて、鈴鹿市石薬師町字寺東に所在する石薬師東古墳群において、三重県消防学校の設備整備に伴い三重県埋蔵文化財センターが実施した発掘調査により直径約15.0mに復元される63号墳の周溝から出土したものである。

本品は出土時には破砕した状態だったが、現在は全体が復元されている。全長が復元された尾部まで含めて約108cm、総高は81cmあり、馬形埴輪としては現在規模の知られるものの中では本県最大のものである。

本品はf字形鏡板・鞍・馬鈴・剣菱形杏葉など多彩な馬具を装着した飾り馬だが、最大の特徴は頭部の被りもないしは垂らしたたてがみといわれる装飾で、頭頂部から後頭部に断面山形に粘土板を被せて全面に鋭利な工具により縦方向の沈線を施している。馬の表情も眼窩の上部をわずかに膨らませてやや憂いをたたえた写実性の高い表現となっている。馬具も直弧文風の線刻を持つ鞍、環状鐙、馬鈴を付したf字形鏡板、剣菱形杏葉や胸繫、障泥、雲珠、手綱などは、当時の実際の馬具を忠実に模しており写実性の高いものである。

製作時期については、年代研究の進んでいる、馬具の年代観と、脚部の蹄の造作による埴輪研究の成果から5世紀末頃と推定できる。

本品のような頭部の意匠は、本県ではこれまでに知られている23点の馬形埴輪だけでなく、全国的にみても類例のないもので、その意図するところは現在も不明ではあるものの、極めて独特の装飾であることは間違いない。しかしながら、本品はそうした未解決の問題をおいても馬具類などの装飾や馬の表情などの技法、また全体のプロポーションなど、写実性や埴輪製作技術の上でも極めて優れたものといえる。

三重県下では、平成8年度に松阪市常光坊谷4号墳出土埴輪を県指定有形文化財としているが、本品は北勢地方のみならず、三重県の高古墳文化を代表する文物として高く評価されるものであり、県指定有形文化財にふさわしいものである。

- ・種別 有形文化財（考古資料）
- 名称 夏見廃寺出土埴仏・塑像
- 員数 516点（大形埴仏53点、方形三尊埴仏169点、小形独尊埴仏232点、連座埴仏3点、塑像59点）
- 時代 飛鳥時代～奈良時代
- 所在地 名張市夏見字赤坂2759 夏見廃寺展示館
名張市桜ヶ丘3088-91 旧総合市民会館
- 所有者 名張市教育委員会
- 告示 三重県教育委員会告示第43号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 考22

概要 夏見廃寺は、名張市夏見にある飛鳥時代から奈良時代にかけての寺院跡で、平成2年に国の史跡に指定されており、天武天皇の皇女、大来皇女により発願された「昌福寺」と推定されている。昭和21年から翌年に京都大学により発掘調査が行われ、埴仏の出土が知られていたが、今回県指定有形文化財に指定された埴仏・塑像は昭和59年度から62年度にかけて名張市教育委員会が、史跡の保存・整備のために実施した発掘調査により出土したものである。

埴仏は原型から踏み返して作成した雌型に粘土を押し当てるなどして作成した立体的なレリーフ状の仏像で、表面に金箔の残るものもある。金堂と推定される礎石建物の周囲から集中して出土しており、金堂の壁面を装飾していたものとみられている。意匠や大きさなどにより大型埴仏・方形三尊埴仏・小形独尊埴仏・連座埴仏に分類される。

大形埴仏は破片のみのため、全体の規模は具体的には分からないが、中央の宝珠などで装飾された天蓋の下に阿弥陀如来をおき、左右に菩薩・眷属を配している。下部には蓮華台座や須弥壇の意匠がみられ、法隆寺伝世品や、唐招提寺伝世品、京都府の藤井有鄰館所蔵のものと同形とみられているほか、獅子像や迦楼羅像、胡人風の風貌の眷属など、名張市資料にのみみられる意匠もある。

また下部に配された須弥壇のモチーフには「首」「明」などの他、「甲午年□□中」と読める文字があり、塼仏の製作は「甲午年」694年頃とみられている。

この他に阿弥陀倚像の両脇に菩薩立像を、また上方に飛天を配した方形三尊像（およそ21cm×14cm）、光背をもち蓮華座に座した如来像を表す小形独尊塼仏（平均で6cm×3cmほど）、小形独尊を縦に二つ連結した形の連座塼仏がある。

塑像は講堂とみられる礎石建物の須弥壇床面から破砕した状態で出土しており、全形は窺われないうが、螺髪（長さ6cmほど）や足の指、天衣の一部とみられるものがあり、部分的に赤色顔料が残る。

夏見廃寺出土の塼仏は飛鳥時代から奈良時代の初頭に盛行した塼仏、ひいては当時の仏教文化を研究するうえで極めて貴重な資料であり、名張市教育委員会所蔵の資料は量的にも、モチーフの多彩さや図様の鮮明さといった質的にも最も重要なものであり、県指定有形文化財として十分な内容を持つものである。

- ・種別 有形文化財（考古資料）
- 名称 夏見廃寺出土塼仏
- 員数 13点（方形三尊塼仏7点、小形独尊塼仏6点）
- 時代 飛鳥時代
- 所在地 津市広明町147-2
- 所有者 三重県（管理 三重県立博物館）
- 告示 三重県教育委員会告示第43号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 考23
- 概要 夏見廃寺の塼仏は、昭和21年から翌年にかけての京都大学発掘によるものと、今回同時に県指定有形文化財に指定された名張市教育委員会が昭和59年度から62年度にかけて調査した際に出土したものがよく知られているが、かつてはいくつかの採集品があったといわれ、その一部は奈良国立博物館に寄贈されているが、三重県立博物館にも夏見廃寺出土とされる塼仏が13点所蔵されている。どのような経緯で、館藏品となったかは不明だが、「昭和23年」や「夏見廃寺」の墨書があり、この前後に夏見廃寺で採集されたものが、取められたものとみられる。
方形三尊塼仏と小形独尊塼仏があり、方形三尊塼仏には中尊の阿弥陀如来の倚座部分、蓮華台座部分、天蓋部分と脇侍の菩薩立像の脚部・台座部、頭部がある。小形独尊塼仏には、ほぼ完形のもの2点があり、一部に金箔も残る。
これらは、これまでに知られている夏見廃寺出土の塼仏と同形であり、同質のものであることから、夏見廃寺出土のものともみて間違いなく、図像のよく残った資料がまとまって保管されている点から、三重県立博物館所蔵の資料も名張市教育委員会所蔵資料と同様飛鳥時代の仏教文化を知るうえで貴重なものであり、あわせて県指定有形文化財として、今後の保護・活用に期するものである。
- ・種別 有形民俗文化財
- 名称 徳蓮寺の小絵馬
- 員数 252点
- 時代 江戸時代前期～昭和前半（主体は江戸時代後期～明治初期）
- 所在地 桑名郡多度町下野代3171
- 所有者 宗教法人 徳蓮寺（代表役員 水谷晴英 水谷義雄）
- 告示 三重県教育委員会告示第44号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 有民23
- 概要 この小絵馬は、多度町下野代の徳蓮寺に収納されたもので、252点が現存する。万治元年（1658）奉納の鯰鰻図絵馬が最も古い、大半は江戸時代後期から明治初期にかけて奉納されたものである。

奉納者は現在の桑名市・四日市市の住人が圧倒的に多く、岐阜・愛知県在住のものもあるが、逆に地元からの奉納者が少ないことがわかる。

小絵馬の画題は、252点中144点が鯰鰻図であるのが大きな特色である。鰻は一般に虚空蔵菩薩の使いとされ、その鰻がここでは鯰とも結びついている。徳蓮寺の本尊は虚空蔵菩薩で、災害のため一時行方不明となっていたものが、江戸時代初期に土の中から出現したといわれ、そのときに像のまわりには像を守るかのように多くの鰻や鯰がいたという伝説もある。

絵馬は今、本堂の壁に懸けられているが保存状態は良好である。庶民信仰に関わる小絵馬がまともにまわって伝えられている点や、鯰鰻と虚空蔵信仰の結びつきをうかがわせる事例としても貴重である。

- ・種別 天然記念物及び名勝
- 名称 大丹倉
- 所在地 熊野市育生町赤倉字大仁倉46のうち5,375㎡、同 47のうち、1,500㎡
- 所有者 田岡久穂 新屋和秀 新屋 孝 松井純子 山口啓子 新屋 修
- 告示 三重県教育委員会告示第45号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 天名2
- 概要 三重県南部の尾鷲市から和歌山県那智勝浦町にかけての地域は、地質学上、西南日本外帯に位置し、新第三紀中新世の火成岩（熊野酸性岩）が広く分布する。大丹倉は、熊野酸性岩の一部を構成する神ノ木流紋岩の、高さ200m以上、水平距離数百mにわたる巨大な急崖であり、熊野市南西部の尾川川右岸に位置する。
崖の表面は流紋岩中に含まれる赤鉄鉱のため赤みを帯びており、崖全体として一種独特な景観を呈している。また、台地状になっている崖の上からは河川が刻み込んだ谷や周辺の山々を一望することができ、地質学上のみならず、景観としても貴重なものである。

- ・種別 天然記念物
- 名称 神木のイヌマキ
- 所在地 南牟婁郡御浜町大字神木字南岡836
- 所有者 中村 一二三
- 告示 三重県教育委員会告示第45号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 天99
- 概要 このイヌマキは御浜町神木の西地川の右岸、標高約100mに位置する孤立木である。周囲はみかん畑や水田となっており、日照等の生育条件はよい。樹勢は良好で、樹幹に空洞等もない。胸高周囲は約5.7m、樹高は約20mで南東方向の枝張りが多い。
イヌマキは関東以西の主として太平洋岸に分布する常緑高木で、巨木となることもあるが、神木のイヌマキは県下最大級である。環境省生物多様性センターの2000年の調査によると、胸高周囲で鹿児島県鹿屋市のイヌマキに次いで全国第2位となっている。

- ・種別 天然記念物
- 名称 池ノ谷のモリアオガエル繁殖池
- 所在地 多気郡宮川村大字松原字池ノ谷319-1のうち7,500㎡
- 所有者 中村 東平 中村 一子 中村 元哉
- 告示 三重県教育委員会告示第45号
- 指定日 平成15年3月17日
- 指定番号 天100
- 概要 モリアオガエルは体長4～8cmの緑色または暗緑色のカエルで、池や川のよどみ、用水などの

止水上に張り出した樹枝上に産卵する。三重県内では中・北勢地方に散在的に分布する。池ノ谷池は宮川村と紀伊長島町の村町境付近の標高約400mに位置する約75アールの自然の窪地である。

モリアオガエルはこの池周辺に多く生息し、毎年6月から7月の産卵期には池畔の樹木に多くの卵塊が見られる。卵塊の数は多い年には1,500以上にのぼるといふ。このようにモリアオガエルの産卵がまとまって見られる箇所は県内でも貴重である。池ノ谷周辺には産卵に利用されるケヤキやサワグルミ、ヤブニッケイ、カゴノキ、イロハモミジ、タブなどの樹木があり、付近にはミカエリソウ、マツカゼソウ、レモンエゴマなどの草本もみられる。

6 記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財の選択

- ・種別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
- 名称 尾鷲ヤーヤ祭
- 所在地 尾鷲市内
- 保持団体 尾鷲神社氏子総代会
- 選択日 平成14年11月13日
- 概要 尾鷲神社は、古くから尾鷲七郷（南浦・中井浦・天満浦・矢浜・向井・大曾根浦・行野浦）の氏神（祭神、牛頭天王＝大宝天王）で、2月1日から5日に催される祭礼を通称ヤーヤ祭という。
祭礼の主な構成要素は、当屋での神霊奉斎、神社祭祀での①共同飲食、②弓射行事、③獅子行事、④当屋の交替である。共同飲食は特に重要な内容になっている。
当人の斎戒の重視、一方では華美と喧噪を伴う場面など、その特質といえる。
ヤーヤ祭は尾鷲神社の来歴や祭礼行事、宮座と当屋の古態を維持しつつ現在にいたっているもので、現段階での祭礼行事全般についての記録化を進めることがまず必要であり、記録保存を目的とした「県指定無形民俗文化財以外の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択するものである。

7 三重県指定文化財の解除、並びに、一部解除及び員数変更

(解除)

- ・種別 史跡
- 名称 八鬼山の一里塚及び熊野街道八鬼山道
- 所在地 尾鷲市大字南浦八木山君ヶ谷2694のうち100㎡、同 2692のうち100㎡、同 字大田の尾鷲市道八鬼山線の基点から八鬼山山頂の旧熊野街道との分岐点まで3,908m
- 所有者 尾鷲市ほか
- 公報 三重県教育委員会告示第47号
- 解除日 平成14年12月19日
- 理由 国史跡の指定（平成14年12月19日文部科学省告示第207号）による解除

- ・種別 史跡
- 名称 馬越峠の一里塚及び熊野街道馬越峠道
- 所在地 北牟婁郡海山町大字相賀字馬越一里塚1578のうち19㎡、同 字馬越大谷1564のうち16㎡、同 1497 1と1600の1に挟まれた道路敷から996の1と997に挟まれた道路敷までに連続する道路敷
- 所有者 海山町ほか
- 公報 三重県教育委員会告示第47号
- 解除日 平成14年12月19日
- 理由 国史跡の指定（平成14年12月19日文部科学省告示第207号）による解除

- ・種別 名勝
- 名称 諸戸精文庭園
- 所在地 桑名市太一丸18ほか

所有者 財団法人 諸戸会
公報 三重県教育委員会告示第47号
解除日 平成14年12月19日
理由 国名勝の指定（平成14年12月19日文部科学省告示第203号）による解除

・種別 天然記念物
名称 中央構造線月出露頭
所在地 飯南郡飯高町大字月出字ハサビ562-1のうち10,000㎡及びそれに隣接する河川敷
所有者 沖中由治 国土交通省
公報 三重県教育委員会告示第47号
解除日 平成14年12月19日
理由 国天然記念物の指定（平成14年12月19日文部科学省告示第204号）による解除

（一部解除及び員数変更）

・種別 有形文化財（建造物）
（一部解除）名称 神宮祭主職舎（旧慶光院）の内、本館（旧慶光院書院）一棟
員数 3棟の内、1棟
（変更後）名称 神宮祭主職舎（旧慶光院）
勝手所 一棟 表門 一棟
員数 2棟
所在地 伊勢市宇治浦田1丁目1-29
所有者 神宮
公報 三重県教育委員会告示第46号
解除日 平成14年12月26日
理由 国重要文化財の指定（平成14年12月26日文部科学省告示第212号）による一部解除

・種別 有形文化財（建造物）
（一部解除）名称 諸戸（宗）家住宅の内、主屋 一棟、洋室 一棟、御殿（玄関及び座敷） 二棟、
洋館 一棟、玉突場 一棟、表門 一棟
員数 8棟の内、7棟
（変更後）名称 諸戸（宗）家住宅
煉瓦蔵 一棟
附 煉瓦塀 三棟 石造溝渠 一基
員数 1棟
所在地 桑名市大字桑名字太一九19-2、19-3、686-2
桑名市大字桑名字鷹場670-1
所有者 財団法人 諸戸会
公報 三重県教育委員会告示第46号
解除日 平成14年12月26日
理由 国重要文化財の指定（平成14年12月26日文部科学省告示第212号）による一部解除

8 市町村指定文化財の指定・解除

(指 定)

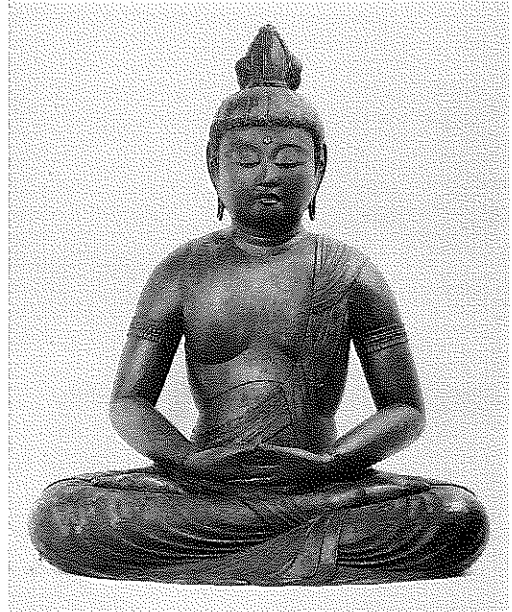
市町村名	種 別	名 称	員数	所 在 地	所有者管理者	指 定 日
桑 名 市	有形（絵画）	谷文晁筆 木製絵馬 曳駒図一對	1 対	桑名市吉之丸9	鎮国守国神社	15. 2. 27
	有形（工芸品）	象牙製字さし（松平 定信所用）	1 本	桑名市吉之丸9	鎮国守国神社	15. 2. 27
	有形（書跡）	徳川家斉筆 光格天 皇御製漢詩	1 幅	桑名市吉之丸9	鎮国守国神社	15. 2. 27
四日市市	無形民俗	生桑長松神社の 大鏡餅神事	—	四日市市生桑町614	生桑町自治会	14. 8. 29
松 阪 市	有形（建造物）	御城番屋敷	3 棟	松阪市殿町1381ほか	合資会社 苗秀社	14. 4. 15
	天然記念物	清水の大ドチ	1 本	松阪市清水町341-1	個 人	14. 4. 15
上 野 市	有形（建造物）	西蓮寺鐘楼門	1 棟	上野市長田1931	西蓮寺	14. 4. 25
	有形（建造物）	西蓮寺石燈籠	1 棟	上野市長田1931	西蓮寺	14. 4. 25
	有形（建造物）	寺田五輪塔	1 基	上野市寺田758-1	寺田区	14. 4. 25
	有形（工芸品）	蓮葉形銅製水鉢	1 基	上野市長田1931	西蓮寺	14. 4. 25
	有形（古文書）	朱雀家文書	5 通	上野市長田2697	個 人	14. 4. 25
	史跡	藤堂采女家歴代墓所	—	上野市長田1931	西蓮寺	14. 4. 25
芸 濃 町	有形（彫刻）	木造大日如来坐像	1 軀	安芸郡芸濃町大字林1264	林区	15. 3. 14
	有形（彫刻）	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	安芸郡芸濃町大字林1264	林区	15. 3. 14
	有形（彫刻）	木造釈迦如来坐像	1 軀	安芸郡芸濃町大字林1264	林区	15. 3. 14
	有形（彫刻）	木造十一面観音立像	1 軀	安芸郡芸濃町大字林1264	林区	15. 3. 14
	有形（彫刻）	木造聖観音立像	1 軀	安芸郡芸濃町大字林1264	林区	15. 3. 14
白 山 町	有形（建造物）	ハツ山神社本殿	1 棟	一志郡白山町大字八対野2470	ハツ山神社	15. 3. 27

(解 除)

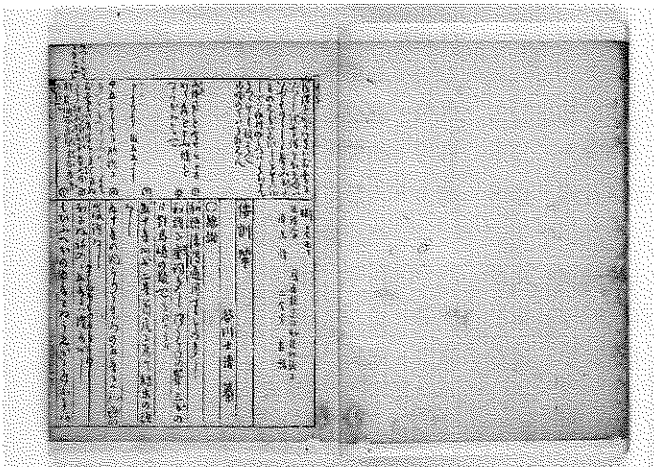
市町村名	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有管理者	解 除 日	理 由
松 阪 市	天然記念物	松阪花菖蒲	—	松阪市久保町171	個 人	15. 2. 28	衰亡



御城番屋敷



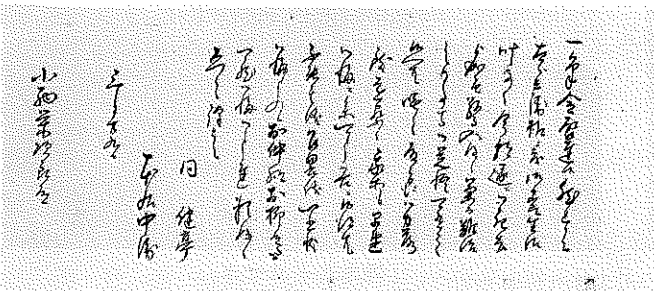
木造大日如来坐像（成就寺）



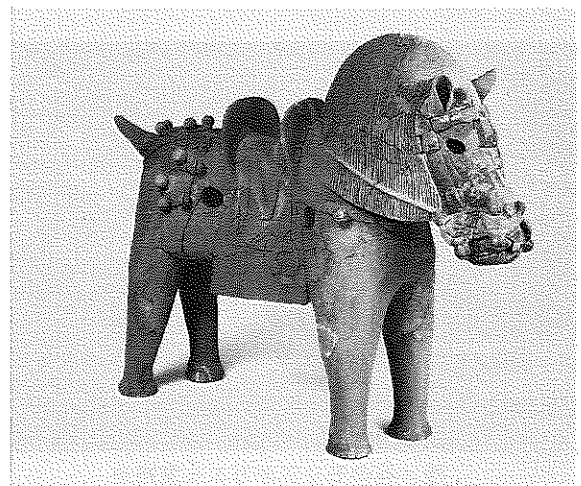
谷川士清関係資料（倭訓栞稿本）



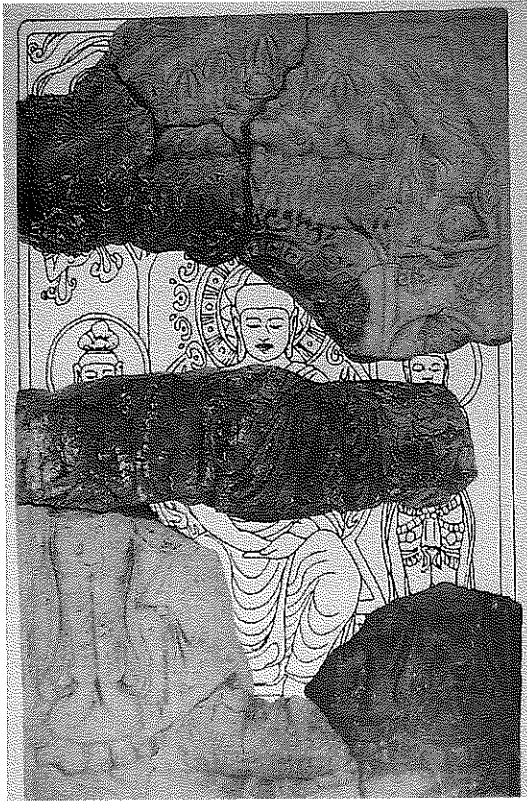
木造薬師如来坐像（九品寺）



本居宣長自筆書状（小西春村宛書状）



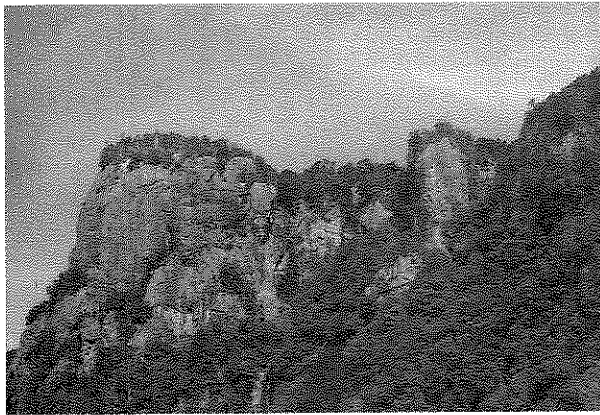
馬形埴輪（石薬師東古墳群63号墳出土）



夏見廃寺出土埴仏・塑像（方形三尊埴仏）



徳連寺の小絵馬



大丹倉



神木のイヌマキ



池ノ谷のモリアオガエル繁殖池



尾鷲ヤーヤ祭

II 文化財の調査事業

1 特別天然記念物カモシカ（S30.2.15指定）調査〔国庫2／3補助・三重県 1,900千円〕

(1) 特別天然記念物カモシカ通常調査

① 調査目的

特別天然記念物カモシカは、三重県内において昭和58年9月に鈴鹿山地の保護地域が設定され、平成元年7月に紀伊山地の保護地域も設定された。カモシカの永続的な保存のために絶えず現状を把握し、適切な保護措置をとるとともに、基本的なデータを蓄積して、5年に1度実施される特別調査を補完するものである。

② 調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査指導 富田 靖男（財）三重県環境保全事業団 特別研究員

武田 明正（三重大学生物資源学部教授）

松原準之助（三重県森林組合連合前会長）

現地調査 三重県文化財調査委員

鈴鹿山地担当

伊藤 勝義・伊藤 正仁（藤原町）

小森 良一・出口 幸雄（北勢町）

山下 久雄・岩花 正己（大安町）

満田 学・山野 直也（菰野町）

市川 正人・山脇 和也（四日市市）

前田 有・前田 伸士（鈴鹿市）

紀伊山地担当

森山 幸司・今西 隆次（飯高町）

岡本 宏之・水谷 哲也（宮川村）

小島 弘也・萩原 昌博（紀伊長島町）

大西 克明・玉津 直人（海山町）

小倉 保則・川端 昭紀（尾鷲市）

③ 三重県カモシカ保護連絡会議

期 日 平成14年8月3日（土）

場 所 宮川村林業縫合センター（宮川村江馬）

出席者 指導委員：富田靖男・松原準之助・武田明正

パトロール員16名

関係市町村教育委員会

関係教育事務所・県教育委員会文化財保護チーム

(2) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

① 目的 特別天然記念物カモシカ保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の構成と動向、食害状況等についての情報交換を行うとともに、今後の保護管理施策、食害対策等について協議する。

② 主催 文化庁・富山県教育委員会

③ 期 日 平成14年10月3日（木）～4日（金）

④ 会 場 富山県上新川郡大山町 白樺ハイツ及びカモシカ生息地

⑤ 出席者 富田靖男・松原準之助（三重県指導委員） 村岡一幸（文化財保護チーム）が三重県から出席

2 天然記念物ネコギギ緊急調査（平成13・14年度継続事業）〔国庫1／2補助・三重県 3,000千円〕

① 調査の趣旨

三重県内のネコギギは特に北勢・中勢地域の河川において個体数が急激に減少し、地域個体群の存続が危ぶまれている状況にある。また、比較的、良好な状態で個体群が維持されている宮川水系においても、河川改修や周辺環境の改変等、生息環境の悪化による個体数の減少が心配されている。そこで、県内のネコギギの生息状況及び生息環境の把握と保存対策の立案を目的として緊急調査を実施する。

② 事業主体 三重県教育委員会

- ③ 調査対象地域
員弁川水系、鈴鹿川水系、櫛田川水系、宮川水系 他
- ④ 調査内容
〔生息分布調査〕
三重県内のネコギギが生息していると思われる水系を対象とし、夜間潜水目視調査等により生息状況を調査。
〔生息環境調査〕
生息分布調査を実施した河川のうち、必要に応じ生息環境調査や生態調査を実施。
- ⑤ 調査体制
事務局 文化財保護チーム
調査担当 三重県科学技術振興センター 水産研究部 鈴鹿水産研究室
委員会 天然記念物ネコギギ緊急調査指導委員会を設置し、調査方法や結果のとりまとめ等について助言を得る
- ⑥ 調査指導委員
名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）
森 誠一（岐阜経済大学 助教授）
原田 泰志（三重大学生物資源学部 助教授）
渡辺 勝敏（奈良女子大学理学部 助教授）
- ⑦ 調査指導委員会
第1回 指導委員会 平成14年6月14日（金）北勢町役場 会議室
第2回 指導委員会 平成15年1月23日（木）鈴鹿水産研究室 会議室
- ⑧ 事業期間
平成14年4月1日 ～ 平成15年3月31日

3 近世亀山藩関係史料 史料調査〔国庫1/2・県1/10補助 亀山市 4,800千円〕

- ① 調査趣旨
亀山城主石川家の家老であった加藤家は、幕末の頃、大別3家に分かれた。この3家に伝存する古文書、歴史資料等を中心に近世亀山藩の藩政史料を調査し、近世亀山地域の歴史及び文化を明らかにする。
- ② 調査組織
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 〔調査委員〕 | 〔調査員〕 |
| 谷口 昭（名城大学法学部教授） | 山中 雅子（多度町史編さん調査員） |
| 藤田 和男（亀山市文化財専門委員会委員長） | 鈴木えりも（三重県史編さん委員） |
| 前田 一郎（花園大学講師） | 沢山 孝子（三重県史編さん委員） |
| 中沢 巷一（鈴鹿国際大学教授） | 磯部 宏子（近江八幡市調査補助員） |
| | 加崎 千恵（皇學館大学臨時事務補助員） |
- ③ 事業概要
平成12～14年度の3ヶ年事業でOA機器を活用した調査を行った。最終年次にあたる平成14年度は、加藤明家文書群と天野家文書群（館蔵絵図）の調査を行い、3ヶ年事業の成果として、加藤明家文書、加藤光大家文書、加藤尚家文書、館蔵加藤家文書、館蔵天野家文書（絵画）を採録した目録（目録編2冊、図録編1冊）を作成した。収録した史料点数は14,225点、データベースのレコード件数は13,948件である。
- ④ 調査指導委員会
第1回調査指導委員会 平成14年8月19日
第2回調査指導委員会 平成14年12月16日

4 桑名松平伝来資料 史料調査〔国庫1/2・県1/10補助 桑名市 2,400千円〕

- ① 調査趣旨
桑名城跡に所在する鎮国守国神社宝物館には桑名松平家関係はじめ多様な資料が保存されている。この桑名松平伝来の歴史資料を調査して全容を明らかにし、市史編纂など将来の保存活用に資する。

② 調査組織

〔調査委員〕

岡田 照子（岐阜女子大学名誉教授）	小川 通夫（桑名市文化財保護審議会委員）
西羽 晃（桑名市文化財保護審議会委員）	上野 秀治（皇學館大学教授）
高倉 一紀（皇學館大学助教授）	塚本 明（三重大学助教授）
嵯峨井和風（鎮国守国神社宮司）	小山 誠（鎮国守国神社総代）

〔調査員〕

岡田 照子（岐阜女子大学名誉教授）	上野 秀治（皇學館大学教授）
岡嶋偉久子（天理大学付属天理図書館司書）	岡田 芳幸（皇學館大学神道博物館学芸員）
齋藤 平（皇學館大学講師）	櫻井 治男（皇學館大学教授）
高倉 一紀（皇學館大学助教授）	塚本 明（三重大学助教授）
牟禮 仁（皇學館大学神道研究所助教授）	福井 款彦（熱田神宮）
藤谷 彰（三重県生活部県史編纂グループ）	八幡 崇経（八幡神社）

〔調査協力員〕

浅井亜矢子、廣瀬 久志、尾藤あやえ、盛山 隆行、中川 豊、中條 敦仁、速水 香織、松下 洋子、石川 匡伸、松井 秀宗

③ 事業概要

平成13～15年度の3ヶ年事業として調査を継続している。鎮国守国神社宝物館収蔵資料全てを対象に調査を実施し、調査カードを作成するとともに、主要な資料の写真撮影を行った。また、昨年度に調査を行った松平家寄贈資料についても、補完調査を実施した。

④ 調査指導委員会

調査指導委員会 平成14年 8月26日

5 埋蔵文化財詳細分布調査等

- (1) 安濃町 町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助・安濃町 597千円]
平成13年度から平成15年度まで3ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査。
- (2) 白山町 町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助・白山町 500千円]
平成13年度から平成15年度まで3ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査と川口頓宮推定地で試掘調査も実施。
- (3) 朝日町 町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助・朝日町 800千円]
平成13年度から今年度まで2ヶ年事業で町内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は詳細分布地図作製。
- (4) 松阪市 市内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助・松阪市 667千円]
今年度から平成16年度までの3ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は実地調査。

6 埋蔵文化財緊急発掘調査

- (1) 国史跡斎宮跡緊急発掘調査 [国庫1/2補助事業・三重県 17,000千円]
国史跡斎宮跡解明のために2地区1,160㎡の計画調査を実施するとともに斎宮跡発掘調査報告書Ⅰ図版編を刊行した。また、これまでの調査成果を管理する、斎宮跡調査管理システムを開発した。

次数	地区	面積㎡	期間	主要遺構・遺物
136	西加座地区	460	5/14～8/13	掘立柱建物・区画溝・土坑 土師器・須恵器・灰釉陶器・猿面硯
137	中垣内地区	700	8/19～12/3	掘立柱建物・竪穴住居・土坑 土師器・須恵器・山茶椀・金銅製カ帯

(2) 県営ほ場整備事業等発掘調査

[農林水産商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費131,466千円うち農家負担分15,830千円 国庫1/2補助事業 三重県 7,915千円]

事業名	遺跡名	所在地	面積㎡	調査費(千円)	調査期間
県営ほ場整備事業	八重垣神社遺跡他	鈴鹿市十宮町	554	報告書 報告書 報告書	10/21~12/2
	金森遺跡他	亀山市三寺町	3,748		7/1~12/9
	替田遺跡他	津市野田	1,701		7/1~11/28
	魚見里前遺跡	松阪市魚見町	662		9/30~11/29
	荒木氏館跡	上野市荒木	2,861		11/13~2/26
	八重垣神社遺跡他	鈴鹿市十宮町			
	琵琶垣内遺跡他	松阪市豊原町他			
	野添遺跡他	阿山郡伊賀町野村			
	大原堀遺跡他	松阪市広瀬町	5,257		7/9~12/24
	計		14,783	15,830	

(3) 市町村遺跡発掘調査

・長者屋敷遺跡ほか発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 鈴鹿市 2,000千円]

伊勢国府の所在が明らかとなり、一部国史跡に指定された長者屋敷遺跡のほか、市内の重要遺跡の範囲確認などのための基礎データを収集し、将来の保存管理計画の基礎資料を得た。

(長者屋敷遺跡)

地区名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
6AJC-G区	広瀬町字矢下	実態解明の学術調査	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	1184.1	政庁南方の溝・掘立柱建物・土坑・古墳瓦類・土師器・須恵器ほか
6AJE-C区	広瀬町字矢下				
6AJJ-D区	広瀬町字矢下				
6ALC-D区	西富田町字矢卸				
6ADB-ABCDE	広瀬町字西野々				
計				1184.1	

(範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
国分北遺跡	国分町字裏山566,567	倉庫建設	H14. 5. 8	5	遺構・遺物なし
周知外	下箕田二丁目527外	宅地造成	H14. 5. 9	28	遺構なし・陶器
貝戸部遺跡	上野町字貝戸部940-1	宅地造成	H14. 5. 14	400	竪穴住居・掘立柱建物 弥生土器・土師器等
津賀東部遺跡	高塚町190-12	倉庫建設	H14. 5. 20	4	遺構・遺物なし
神戸中学校遺跡	神戸七丁目1096-1	集合住宅建設	H14. 5. 28	3	遺構なし・土師器
三日市東遺跡	三日市二丁目436-2	個人住宅	H14. 6. 14	4	遺構・遺物なし
西川西遺跡	郡山町字土孔1345-1	個人住宅	H14. 6. 28	8	柱穴・須恵器
須賀遺跡	須賀一丁目1579、1580、1581	福祉施設建設	H14. 7. 3 ~ 7. 4	101	竪穴住居 弥生土器・須恵器等
土師南方遺跡	土師町字北山之腰1353	個人住宅	H14. 7. 22	3	遺構なし・土師器等
寺山遺跡	高岡町字寺山1819-1、1820-1	福祉施設建設	H14. 7. 24	30	溝・須恵器等
長者屋敷遺跡	広瀬町字西野3300	農業基盤整備	H14. 7. 30	本調査へ	竪穴住居
周知外	飯野寺家町137-6外	宅地造成	H14. 9. 4	40	遺構なし・土師器等
上箕田遺跡	上箕田町字祇園田2668-3	個人住宅	H14. 9. 12	6	遺構なし・土師器等
金沢川遺跡	岸岡町字袖3280	保育施設建設	H14. 9. 19	28	遺構・遺物なし
西ノ岡A遺跡	高岡町字西ノ岡1844-4	福祉施設建設	H14. 9. 27	24	柱穴・弥生土器
一反通遺跡	上野町782-3	個人住宅	H14. 10. 16	21	遺構・遺物なし
石垣遺跡	末広町字野瀬5281-4、5551-4	集合住宅建設	H14. 10. 25	43	遺構・遺物なし

山ノ原遺跡	上田町字赤土296-1	個人住宅	H14.10.28	20	遺構・遺物なし
南浦遺跡	国分町1424-1	駐車場	H14.11.5	16	遺構・遺物なし
岡部氏館跡	甲斐町字白076-3	個人住宅	H14.11.5	2	遺構・遺物なし
梅田遺跡	国府町3258-2	個人住宅	H14.12.12	25	遺構・遺物なし
西ノ野遺跡	国府町字西ノ野20-57、 20-129	個人住宅	H14.12.12	3	遺構・遺物なし
西ノ岡A遺跡	高塚町844-36	個人住宅	H15.1.9	11	遺構・遺物なし
白子代官所跡	白子一丁目6125-25 ・26の一部	個人住宅	H15.1.15	9	遺構なし・近世陶器
須賀遺跡	須賀一丁目34	個人住宅	H15.2.26	7	遺構・遺物なし
西川遺跡	郡山町字野口795-2外	宅地造成	H15.3.13 ～3.20	450	竪穴住居・土坑 土師器・須恵器等
周知外	西条一丁目1218	宅地造成	H15.3.24 ～3.25	33	竪穴住居・土坑・溝 土師器等
計				1,324	

(本調査実施分)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
長者屋敷遺跡	広瀬町字西野3300	農業基盤整備	H14.8.6 ～11.30	4,640	大溝・掘立柱建物・ 竪穴住居・土師器・ 須恵器・瓦
計				4,640	

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
 渡辺 寛 (皇學館大學教授)
 川越 俊一 (奈良文化財研究所)
 高瀬 要一 (奈良文化財研究所)
 大場 範久 (神戸高等学校)

指導委員会議 平成14年7月5日(金)

・町内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 嬉野町 1,000千円]

市街化の町中心部を中心に、重要遺跡の範囲確認を行い、埋蔵文化財保護の基礎的データを得た。

遺跡名	所在地	原因	期間	対応面積㎡	主要遺構・遺物
筋違遺跡	嬉野町新屋庄	店舗建築	H14.4.10 ～4.11	32	遺構なし 山茶碗片
小原遺跡	嬉野町小原	個人宅地	H14.4.23 ～4.24	32	遺構なし 土師器片
八田城跡周辺	嬉野町八田	土取り	H14.9.1 ～9.20	300	遺構なし 遺物あり
焼野遺跡	嬉野町島田	道路建設	H14.1.17 ～2.24	240	遺構・遺物あり
捨田遺跡	嬉野町捨田	区集会所	H15.2.9 ～2.10	32	遺構・遺物あり
八田遺跡	嬉野町八田	授産施設建設	H15.2.25	16	遺構なし 遺物あり
荒野遺跡	嬉野町須賀	福祉施設建設	H14.11.11	32	遺構・遺物なし
田村西瀬古遺跡	嬉野町田村	店舗建築	H14.11.18 ～11.22	80	遺構・遺物なし

庵之門遺跡	嬉野町川北	個人宅地	H14.10.21 ～10.22	16	遺構なし 遺物あり
神北遺跡	嬉野町須賀	個人宅地	H14.10.21	16	遺構・遺物なし
竜王野遺跡	嬉野町須賀領	団地開発	H15.3.1 ～3.7	32	遺構・遺物なし
新出遺跡	嬉野町新出	福祉施設建設	H15.3.21 ～3.28	96	遺構あり 遺物なし
御所垣内遺跡	嬉野町堀之内	造成工事	H15.3.10 ～3.20	64	遺構・遺物あり
平生遺跡	嬉野町平生	店舗建築	H15.2.26 ～2.28	32	遺構あり 遺物なし
計				1,020	

・村内遺跡発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 美杉村, 6,761千円]

多気地内の北畠氏関連遺跡の学術調査を行い、史跡指定にむけての基礎的データを収集した。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡 (北畠氏館跡)	上多気馬場	実態解明の学術調査	H14.11.26～ H15.3.31	560	溝・土坑・石列
計				560	

・御館・柳原遺跡ほか発掘調査等 [国庫1/2・県費1/6補助 明和町 1,672千円]

遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に地下遺構等の実態を把握することで、遺跡保護のデータを収集する。また、住宅密集地内での調査精度の維持のため測量4級基準点を23ヶ所新設した。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
斎宮跡 第138-2次調査	斎宮字篠林3143-1、 3143-3	住宅新築	H14.4.23 ～5.1	74	掘立柱建物・溝
斎宮跡 第138-5次調査	竹川字東裏227-3	竹川自治会仮集 会所建設	H14.6.11 ～7.9	125	掘立柱建物・竪穴住居
斎宮跡 第138-5次調査	斎宮字西前沖2604-5	住宅建設	H14.10.22 ～10.25	50	掘立柱建物・ビット 土師器・須恵器等
斎宮跡 第138-18次調査	斎宮字広頭3381-7	住宅建設	H14.11.26 ～12.3	55	掘立柱建物・土坑 土師器・緑釉陶器
中山B遺跡	大淀字中山2747番地 ほか11筆	砂利採取	H14.7.9	156	遺構・遺物あり
安養寺跡	上野字寺屋敷435	病棟建設	H15.3.10 ～3.28	184	井戸・土坑・溝 土師器・青磁・五輪塔
計				644	

7 民俗文化財の調査

(1) 春日神社の石取祭総合調査

① 目的

三重県北勢部・岐阜県南部・愛知県西部にわたり広域に分布する石取祭或いは類似する曳山祭の中で、春日神社の石取祭がもつ独自性について、また近世から近現代を通じ社会や経済の中でどのような位置を占めていたかなどの観点から総合的に調査を行う。

② 事業内容

平成14年度から17年度にかけて春日神社の石取祭について総合的な調査を行うとともに、お囃子の体験学習会などの普及・伝承事業を合わせて行う。

③ 調査体制

〔調査委員会〕

小西 良輝（桑名市助役） 会長
植木 行宣（京都学園大学教授） 副会長
岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員）
樋口 昭（埼玉大学教授）
鬼頭 秀明（中京大学講師）
野村 史隆（桑名市文化財保護審議会委員）
小津 嘉彦（桑名市教育委員会教育長）
水野 顕明（桑名市産業振興部長）
椽尾 健三（桑名市教育委員会教育部長）
小串 芳夫（桑名市政策課政策員）
不破 正人（春日神社宮司）
伊藤 正巳（石取祭保存会会長・桑名宗社社頭）
藤井 重信（桑名宗社社頭）
佐藤 茂夫（桑名宗社社頭）
伊藤 博章（桑名宗社副社頭）

〔調査団〕

植木 行宣（京都学園大学教授） 団長
樋口 昭（埼玉大学教授） 副団長
鬼頭 秀明（中京大学講師） 副団長
東條 寛（四日市市教育委員会）
日比野 晃（中日本自動車短期大学教授）
浦西 勉（奈良県立民俗博物館主任学芸員）
小川 雅男（石取祭車研究者）
関 孝夫（民俗研究者）
和田 光男（大津市立歴史博物館学芸員）
小西 恒宣（名古屋市博物館学芸員）
橋本 章（長浜市史編纂室）
増田 雄（水口町自治体史編纂準備室調査員）
鶴飼 均（仏教大学非常勤講師）
大西 稔子（栗東歴史民俗博物館学芸員）
岸本 誠司（近畿大学非常勤講師）
佐藤 直幸（民俗研究者）
三国 信一（民俗研究者）
向田 明弘（日吉町立資料館学芸員）
入江 宣子（福井県文化財保護審議会委員）
田井 竜一（京都市立芸術大学助教授）
鈴木由喜子（京都女子大学非常勤講師）
水野 耕嗣（国立岐阜工業高等専門学校教授）
久保 智康（京都国立博物館工芸室長）
藤井 健三（京都市染織試験場）

Ⅲ 文化財の保護事業

1 県費補助事業（国庫補助事業分）

(1) 建造物保存修理事業

専修寺御影堂（専修寺・津市）〔S36. 6. 7 指定〕

事業概要 全体計画 平成11年度から19年度まで専修寺御影堂の半解体修理。

13年度事業費 13年度事業（木工事・屋根工事）が14年度に繰越
46,154千円（国65% 30,000千円、県10% 4,615千円）
（13～14年度施工）

14年度事業費 14年度事業（基礎工事・木工事・屋根工事・塗装工事・金具工事・構造補強工事）
292,309千円（国65% 190,000千円、県10% 29,230千円）

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社竹中工務店名古屋支社

指導委員

鈴木 嘉吉（前奈良国立文化財研究所長）

金彦 潔（京都大学名誉教授）

菅原 洋一（三重大学助教授）

平松 令三（前龍谷大学教授）

指導委員会

平成14年4月19日、9月19日

(2) 伝統的建造物群保存事業

関町関宿重要伝統的建造物群保存地区・保存修理（関町）〔S59. 12. 10 選定〕

事業概要 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区内において、建造物等の保存のため修理工事。
修理 9件（半解体修理 6件、部分修理 3件）

事業費 30,000千円（国50% 15,000千円、県10% 3,000千円）

設計監理 町教育委員会

工事請負 地元建築会社等

(3) 美術工芸品防災施設事業

① 木造大日如来坐像ほか2件（妙福寺・鈴鹿市）〔T2. 8. 20 指定〕

事業概要 自動火災報知設備設置工事、本堂屋根部分修理工事。

事業費 2,397千円（国70% 1,677千円、県10% 239千円）

工事請負 東邦電産株式会社

真弓建築

② 木造阿弥陀如来坐像（念佛寺・上野市）〔S12. 8. 25 指定〕

事業概要 昭和48年設置の消火栓・ポンプ・貯水槽が老朽化したため撤去、新規設置。
自動火災報知設備の追加設置。

事業費 12,500千円（国60% 7,500千円、県10% 1,250千円）

工事請負 大同建設工業株式会社

(4) 美術工芸品保存修理事業

集古十種板木（鎮国守国神社・桑名市）〔S60. 6. 6 指定〕

事業概要 腐食・虫損が顕著な板木8点について、クリーニング、墨剥落止め、板木強化・補填等の修復処理を実施。

事業費 2,500千円（国65% 1,625千円、県10% 250千円）

工事請負 財団法人元興寺文化財研究所

(5) 重要無形文化財保持団体補助事業

伊勢型紙（伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市）〔S30. 2. 15・平成5. 4. 15認定〕

事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。

普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本の技と美」などに作品を出品。

事業費 7,000千円（国定額（77%） 5,400千円、県10% 700千円）

(6) 史跡等保存整備事業

① 赤木城跡及び田平子峠刑場跡（紀和町）〔H元. 10. 9指定〕

事業概要 赤木城跡は、藤堂高虎により天正16（1588）年に築城され、戦国末期の遺構をきわめて良好に残し、近世城郭の原型を示している。当地域の発掘調査及び保存整備を行う。

14年度事業 北郭石垣・南郭の発掘調査及び写真測量を行い、その結果等をもとに主郭・東郭・北郭・南郭等の芝貼り・植栽、北郭の石垣修理を実施。

事業費 19,250千円（国50% 9,625千円、県10% 1,925千円）

工事請負 測量：アジア航測株式会社 三重営業所、整備：山瀬造園

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 服部 英雄（九州大学教授）
樋田 清砂（三重県史編纂専門委員） 前 千雄（三重県史資料調査委員）
伊東 太作（国際航業技師長） 高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長）
福角 晏次（紀和町文化財専門委員） 久保 幸一（前紀和町教育委員会教育長）

指導委員会

平成14年11月13～14日

② 宝塚古墳（松阪市）〔S7. 4. 25指定、S53. 9. 18追加指定〕

事業概要 宝塚古墳の有する価値を顕在化し、古代の文化や歴史にふれ・学ぶ空間として保存整備を図る。平成11～16年度事業実施予定。

14年度事業 宝塚2号墳の発掘調査（調査面積120㎡）・発掘調査区図化。宝塚1号墳の造出復元整備、階段・四阿設置、貼り芝等の保存整備工事を実施。

事業費 40,000千円（国50% 20,000千円、県10% 4,000千円）

設計監理・測量図化 株式会社空間文化開発機構

工事請負 有限会社太陽緑地松阪営業所 発掘作業（株）松阪市シルバー人材センター

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 下村登良男（松阪市文化財保護委員）
山中 章（三重大学教授） 小野 健吉（奈良文化財研究所主任研究官）
谷本 鋭次（三重県立博物館長） 山澤 義貴（元三重県埋蔵文化財センター副参事）

指導委員会

平成14年4月10日、12月10日、平成15年3月27日

③ 伊勢国分寺跡（鈴鹿市）〔T11. 10. 12指定〕

事業概要 国史跡伊勢国分寺跡の整備実施計画策定のため主要伽藍の位置確認調査を行う。

14年度事業 現在のところその所在が全く明らかでない塔跡基壇の発見のため金堂東側の調査、講堂・回廊東側のトレンチ調査、寺城南東隅部分の調査、南門の規模確認調査（計1,891㎡）を実施。

事業費 5,000千円（国50% 2,500千円、県10% 500千円）

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 渡辺 寛（皇學館大学教授）
高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長） 川越 俊一（奈良文化財研究所考古第二調査室長）
大場 範久（鈴鹿市文化財調査会会長）

指導委員会

平成14年7月5日、12月16日

④ 天白遺跡（嬉野町）〔H12. 4. 11指定〕

事業概要 天白遺跡は縄文時代後期の配石遺構や祭祀遺物が確認された遺跡であり、整備実施計画策定のための確認調査を行う。

14年度事業 遺構確認調査（約500㎡）、遺構空中写真撮影、レーダー探査、磁気探査、プラント・オパール分析・放射性炭素年代測定、土壌洗浄を実施。

事業費 6,716千円（国50% 3,358千円、県10% 671千円）

各種調査 遺構空中写真撮影：株式会社イビソク レーダー探査：天理大学
磁気探査：東京工業大学、 理化学分析：株式会社パレオ・ラボ
土壌洗浄：第一合成株式会社

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

泉 拓良（奈良大学教授）

岡村 道雄（奈良文化財研究所協力調整官）

小野 健吉（奈良文化財研究所主任研究官）

指導委員会

平成15年1月12日

⑤ 上野城跡（上野市）〔S42. 12. 27指定〕

事業概要 「史跡上野城跡保存整備（前期）実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより、文化財としての価値を顕在化し、活用を図る。

14年度事業 史跡整備の基礎資料とするため、表門・城代家老屋敷跡北部の発掘調査（700㎡）、土壌等分析を行うとともに、城代家老屋敷を中心に現況地形測量を実施。

事業費 16,800千円（国50% 8,400千円、県10% 1,680千円）

各種調査 現況地形測量等：株式会社イビソク 土壌等分析：環境考古研究会

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

服部 英雄（九州大学教授）

高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長）

増淵 徹（京都橘女子大学助教授）

菅原 洋一（三重大学助教授）

藤田 達生（三重大学助教授）

福井 健二（上野市文化財専門委員）

指導委員会

平成14年10月20日

⑥ 旧林崎文庫（神宮・伊勢市）〔S29. 12. 25指定〕

事業概要 建物が老朽化し、雨漏り、腐朽、傾斜等の損傷が発生しているため、講堂・控室・書庫の修理を行う。また、石碑・ポンプ庫等の覆屋を修理並びに新設、あわせて外構整備とともに、敷地内の修繕を図る。（平成13～14事業）

14年度事業 石碑覆屋整備、外構整備（石階段・植栽法面・案内板・排水）、防災設備（防火水槽等）を実施。修理報告書を作成。

事業費 20,000千円（国50% 10,000千円、県10% 2,000千円）

設計監理 株式会社林廣伸建築事務所

工事請負 株式会社廣垣工務店

⑦ 谷川土清旧宅（津市）〔S42. 6. 22指定〕

事業概要 平成13年8月の台風11号の風雨により東面妻壁の一部が崩落したため、災害復旧として修復を実施。修理報告書を作成。

事業費 1,582千円 (国70% 1,107千円、県10% 158千円)

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 平田工業株式会社

⑧ 城之越遺跡 (上野市) [H 5. 1. 20指定]

事業概要 古墳時代大溝の保存整備として、3層構造の保護層による遺構の保護が行われたが、冬季の凍結等により劣化や水際の剥がれがみられ、遺構が壊れる恐れがあるため、大溝法面の保存修理工事を実施する。

14年度事業 平成13年度の繰り越し事業として、法面の整形、全体の強化処理工を行い、表面の仕上げを実施。

事業費 平成13年度 11,000千円 (国50% 5,500千円、県10% 1,100千円)
うち、平成14年度へ繰越分 (国 3,933千円、県 787千円)

設計監理 株式会社空間文化開発機構

工事請負 株式会社神和建设

⑨ 斎宮跡 (三重県) [S 54. 3. 27指定]

事業概要 1/10史跡全体模型内の遺構説明の設置箇所について、史跡内の現地5箇所 (祓川・古道・寮庫・内院・大溝) に遺構説明板を設置すると共に、斎宮駅前に全体案内板を設置。1/10史跡全体模型に説明補足用案内板・表示板を追加設置。芝生広場内に暗渠排水設置。

事業費 10,000千円 (国50% 5,000千円、県50% 5,000千円)

工事請負 株式会社ニホンディスプレイ 株式会社エスパ
有限会社辻井組

指導委員等 史跡斎宮跡調査指導委員に同じ

(7) 歴史の道整備活用推進事業

① 史跡熊野参詣道 (紀伊長島町) [H14. 12. 19指定]

総事業費 42,572千円 (平成13年～16年度継続事業)

14年度事業費 4,113千円 (国50% 2,056千円 県25% 1,028千円)

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、三浦峠道の整備・修復及び説明版設置

② 史跡熊野参詣道 (海山町) [H14. 12. 19指定]

総事業費 6,803千円 (平成13年度～14年度継続事業)

14年度事業費 3,300千円 (国50% 1,650千円 県25% 825千円)

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、始神峠道及び馬越峠道の整備・修復及び標柱設置

③ 史跡熊野参詣道 (尾鷲市) [H14. 12. 19指定]

総事業費 70,365千円 (平成10年度～15年度継続事業)

14年度事業費 6,200千円 (国50% 3,100千円 県25% 1,550千円)

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、曾根次郎坂太郎坂及び三木峠道の整備・修復及び説明版等設置

④ 史跡熊野参詣道 (熊野市) [H14. 12. 19指定]

総事業費 63,324千円 (平成13年度～15年度継続事業)

14年度事業費 25,100千円 (国50% 12,550千円 県25% 6,275千円)

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、曾根次郎坂太郎坂、二木島峠道逢神坂峠道、波田須の道、大吹峠道、観音道、松本峠道、花の窟の整備・修復及び標柱等設置

⑤ 史跡熊野参詣道 (御浜町) [H14. 12. 19指定]

総事業費 11,300千円 (平成13年度～15年度継続事業)

14年度事業費 4,000千円（国50% 2,000千円 県25% 1,000千円）

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、横垣峠道及び風伝峠道の整備・修復及び標柱等設置

(8) 史跡等買上げ事業

① 斎宮跡（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 史跡斎宮跡の公有化（昭和54年度～継続事業）

14年度事業 1,502㎡（7筆）の買上

事業費 50,052千円（国80% 40,000千円、県15% 7,500千円）

② 赤木城跡及び田平子峠刑場跡（紀和町）〔H元. 10. 9指定〕

事業概要 赤木城跡の公有化

14年度事業 577㎡（1筆）の買上及び家屋・工作物等の移転補償

事業費 8,074千円（国50% 6,459千円、県10% 807千円）

③ 斎宮跡 先行取得償還（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 平成12・13年度先行取得による公有化にかかる起債の償還

14年度事業 平成12・13年度の償還分

事業費

12年度分償還 5,759千円（国80% 4,607千円、県15% 863千円）

13年度分償還 6,539千円（国80% 5,231千円、県15% 980千円）

④ 美旗古墳群（名張市）〔S53. 10. 17指定〕

事業概要 史跡美旗古墳群の公有化（平成4年度～継続事業）

14年度事業 平成13年度の繰り越し事業として、1筆の公有化

事業費 平成13年度12,702千円（国50% 10,161千円、県10% 1,270千円）

うち、平成14年度へ繰越分8,424千円（国 7,488千円、県 936千円）

(9) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業

落合古墳群ほか（三重県）

事業概要 伊勢市落合古墳群および松阪市垣内田古墳群から出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

14年度事業 鉄刀5点、鉄剣1点の保存処理を実施。

事業費 2,433千円（国50% 1,216千円、県50% 1,217千円）

処理受託 財団法人元興寺文化財研究所

(10) 文化財等保存活用施設整備事業

松阪市文化財資料館 埋蔵文化財センター（松阪市）

事業概要 国史跡宝塚古墳から出土した舟形埴輪をはじめ、市内の埋蔵文化財の調査及び出土品の整理、展示、収蔵できる施設を建設し、文化財保護事業を推進するとともに、地域文化の高揚、活性化を図る。（平成13～14年度）

14年度事業 躯体工事・展示工事・外構工事

事業費 105,000千円〔国定額52,500千円、県定額（国の1/2）26,250千円〕

設計監理 (株)日建設計・(株)アスカ総合設計特定建築設計共同企業体

工事請負 丸亀産業株式会社、明光電気株式会社、富士電設備株式会社
株式会社乃村工芸社

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

下村登良男（松阪市文化財保護委員）

谷本 鋭次（三重県立博物館長） 菅原 洋一（三重大学助教授）
 杉山 龍一（松阪商工会議所専務理事） 下村 猛（松阪市社会福祉協議会事務局長）
 山澤 義貴（元三重県埋蔵文化財センター副参事）

指導委員会

平成14年7月1日、10月28日

(1) 天然記念物食害対策事業

カモシカ（宮川村、飯高町、紀伊長島町、海山町、尾鷲市）[S30.2.15指定]

事業概要 紀伊山地でのカモシカ食害の著しい地域において、保護と食害対策のため保護柵を設置。

総事業費 83,001千円（国2/3 55,332千円、県1/6 13,832千円）

市町村名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	請負者
飯高町	8,001	9	8.32	4,585	松阪飯南森林組合
宮川村	35,000	16	35.76	12,027	宮川森林組合
紀伊長島町	8,000	6	7.17	3,636	森林組合おわせ
海山町	12,000	9	11.90	5,588	森林組合おわせ
尾鷲市	20,000	16	21.44	9,284	森林組合おわせ
合計	83,001	56	84.59	25,845	

2 県費補助事業（県単独事業分）

(1) 建造物保存修理事業

本竜寺本堂（和気区・紀和町）[H9.3.7指定]

事業概要 本堂床下の一部腐朽、弛緩の改修

事業費 3,133千円（県50% 1,565千円）

設計監理 株式会社林廣伸建築事務所

工事請負 株式会社榎本工務店

(2) 有形文化財保存施設整備事業

薬師寺銅造阿弥陀如来立像（白塚地区自治会連合会・津市）[H12.3.17指定]

事業概要 本堂後方への耐火保存施設の増築（平成14～15年度）

14年度事業 基礎工事、鋼製建具工事

事業費 814千円（県50% 407千円）

工事請負 カネナカ建設株式会社

(3) 有形文化財保存修理事業

木造観音菩薩坐像・木造勢至菩薩立像（遍照寺・亀山市）[H14.3.18指定]

事業概要 木造観音菩薩坐像・木造勢至菩薩立像2躯の保存修理

事業費 1,648千円（県50% 824千円）

工事請負 染浪文化財修理所

(4) 史跡等保存整備事業

① 粥見井尻遺跡（飯南町）[H12.6.19指定]

事業概要 粥見井尻遺跡の復元工事（平成12～14年度）

14年度事業 解説パネル・イメージパネルの完成・植栽・遺構平面表示・敷地内舗装

事業費 36,067千円（県50% 18,033千円）

設計監理 株式会社文化財保存計画協会

工事請負 新谷建設株式会社

竣工式

平成15年3月4日

② 名張藤堂家邸跡（名張市）〔S28. 5. 7指定〕

事業概要 名張藤堂家邸跡太鼓門の修理（平成13～14年度）

14年度事業 太鼓門修復工事報告書の作成

事業費 1,050千円（県50% 525千円）

作成委託 株式会社林廣伸建築事務所

③ 蓑虫庵（上野市）〔S13. 1. 19指定〕

事業概要 蓑虫庵の保存修理（平成13～15年度）

14年度事業 蓑虫庵の茅葺替工事、蓑虫庵の調査研究、庭園調査

事業費 5,160千円（県50% 2,580千円）

調査設計 タック設計室

工事請負 中森建設株式会社

保存整備委員

富山 奏（四天王寺仏教大学名誉教授） 尼崎 博正（京都造形芸術大学副学長）

菅原 洋一（三重大学助教授）

整備指導委員会

平成14年9月6日

④ 大日堂の五百羅漢（菰野町竹成区）〔S42. 2. 10指定〕

事業概要 史跡内に設置された469体の石製羅漢像について、クリーニング・強化材の塗布・破損部分の修復を行う。（平成14年度～22年度）

14年度事業 59体の修理作業を行った。

事業費 3,001千円（県50% 1,500千円）

工事請負 株式会社 アクト

(5) 有形民俗文化財保存修理事業

春日神社雨乞願解大絵馬（春日神社・伊賀町）〔H11. 3. 17指定〕

事業概要 春日神社雨乞願解大絵馬のうち、忠臣蔵仇討図絵馬1点の保存修理

事業費 1,207千円（県50% 603千円）

工事請負 株式会社京都科学

(6) 民俗文化財伝承・活用等事業

一ノ瀬獅子神楽獅子頭修理（度会町一ノ瀬神楽保存会）〔S58. 3. 28指定（獅子神楽）〕

事業概要 痛みの激しい獅子頭3件と、獅子舞覆1件、天狗面1件の修理を行う。

事業費 4,571千円（県50% 1,527千円）

修理請負 ㈱京都科学

㈾鈴木半三郎商店

(7) 指定文化財記録作成事業

① 八幡神社の若子祭・記録作成事業（名張市）〔H13. 2. 21選択〕

事業概要 八幡神社の若子祭について、伝承されている民俗行事の映像記録と調査報告書を作成する。（平成13～14年度）

14年度事業 13年度に引き続き、記録作成を行った。14年度は調査報告書作成を除き、ふるさと文化再興

事業地域伝統文化伝承事業で実施し、調査報告書の作成に関する事業を県補助事業とした。
若子祭のほか、同地区の民俗を知るうえで欠かせない国津神社の秋祭についても映像記録化し、伊賀地域の頭屋行事についても悉皆的に調査を行った。

総事業費 6,500千円

14年度事業費 3,500千円

(ふるさと文化再興事業援助金3,000千円、県補助事業500千円 県50%)

指導委員

植木 行宣 (京都学園大学教授)
岡田 照子 (三重県文化財保護審議会委員)
櫻井 治男 (皇学館大学教授)
松鹿 昭二 (名張市文化財調査会委員)
東川 寅信 (名張市文化財調査会委員)
藤原 弘丈 (名張市滝之原区長)
滝原 尚芳 (名張市滝之原副区長)

調査班

櫻井 治男 (皇学館大学教授)
橋本 章 (長浜市史編纂室)
濱千代 早由美 (名古屋大学大学院)
明永 恭典 (名張市文化財調査会委員)
山口 浩司 (名張市市史編纂室)
宮前 浩幸 (名張市立図書館)
山中 千尋 (名張市史編纂室)

3 県費補助事業 (国間接補助事業分)

(1) 指定文化財管理事業

① 町井家住宅 (個人・上野市) [S50. 6. 23指定]

事業概要 町井家住宅主屋の側柱・小壁・桁・縁板の小修理

事業費 104千円 (県50% 52千円 (内、国1/2))

請負者 有限会社中建築工務店

② 高倉神社本殿境内社 (高倉神社・上野市) [T15. 4. 19指定]

事業概要 高倉神社本殿ほかの自動火災報知設備・加圧式消火設備・上水道直結式消火設備・
避雷設備の保守点検

事業費 126千円 (県50% 60千円 (内、国1/2))

請負者 上野ガス株式会社

③ 猪田神社本殿 (猪田神社・上野市) [S34. 6. 27指定]

事業概要 猪田神社本殿の自動火災報知設備の保守点検

事業費 22千円 (県50% 10千円 (内、国1/2))

請負者 上野ガス株式会社

4 熊野古道世界遺産登録推進事業

① 目的 熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録に向けて、推薦書の作成、市町村による史跡指定の支援等を行う。

② 事業内容

・「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産推薦書の作成・提出

文化庁の指導のもと奈良県、和歌山県と協働して推薦書を作成し、1月末にユネスコ世界遺産センターへ提出した。

・三重県世界遺産学術調査委員会

保存管理計画及び整備活用計画の策定のため、3名の増員を行い、調査・検討をすすめた。

〔委員会の体制〕

委員長 酒井 一 (三重大学人文学部名誉教授)

委員 八賀 晋 (三重大学人文学部名誉教授・三重県文化財審議会委員)

委員 高橋美久仁 (滋賀県立大学人間文化学部教授)

委員 寺口 瑞生 (松阪大学政策学部助教授)

- 委員 萩原なつ子（宮城県環境生活部次長）
- 委員 和田 勝彦（四日市市博物館長）
- 委員 高瀬 要一（独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所遺跡研究室長）
- 委員 吉田 金好（世界遺産登録推進紀北地域協議会会長）
- 委員 花尻 薫（熊野古道語り部友の会会長）

〔委員会の開催日〕

- 第1回委員会 4月26～27日 尾鷲庁舎（尾鷲市坂場西町）、八鬼山道現地（尾鷲市）
- 第2回委員会 6月14日 三重県勤労者福祉会館（津市栄町）
- 第3回委員会 10月13～14日 東長島公民館（紀伊長島町東長島）

・熊野参詣道（七里御浜）測量及び地形図作成業務

七里御浜の国史跡指定に必要な測量図作成した。

事業費 4,547千円

・熊野川測量及び地図作成業務

和歌山県と協働して、熊野川の国史跡指定に必要な測量図を作成した。

・世界遺産登録推進三県リレーフォーラム

「紀伊山地の霊場と参詣道」のついて情報発信をはかるため、三重県・和歌山県・奈良において、リレーフォーラムを開催。

<三重県フォーラム>

日時：平成14年10月13日

場所：東長島公民館（紀伊長島町東長島）

シンポジウムテーマ：「世界遺産の自然環境をまもる」

パネルディスカッションテーマ：「地域の宝物・世界遺産の保護と豊かな活用のあり方について」

奈良県フォーラムは10月6日に、和歌山県フォーラムは10月14日に開催。

5 ふるさと文化再興事業

- ① 目的 各地域で培われた伝統文化の活性化を目的とする事業で、各地の祭礼習俗、民俗芸能、伝統工芸技術等の無形の文化財保存団体に対し、「三重県北勢地域伝統文化活性化マスタープラン」に定めるところの「拠点内地域」と「分野別地域」とに分け、伝承用の映像記録の作成や祭礼用具等の修理を援助していくものである。

② 事業内容

〔拠点内地域〕（北勢地域）

・伊勢大神楽映像記録の作成

① 14年度援助金 2,000千円

② 制作会社 株式会社CBCテレビ映画社

③ 指導委員 北川 央（大阪城天守閣学芸員）・東條 寛（四日市市教育委員会主幹）

・流鏝馬・上げ馬神事映像記録の作成

① 14年度援助金 2,200千円

② 制作会社 株式会社CBCテレビ映画社

③ 指導委員 植木 行宣（京都学園大学教授）・岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員）・岸本 誠司（近畿大学非常勤講師）・佐藤 直幸（民俗研究者）

・鈴鹿山系太鼓踊り映像記録の作成

① 14年度援助金 2,000千円

② 制作会社 三重テレビエンタープライズ株式会社

③ 指導委員 鬼頭 秀明（中京大学非常勤講師）・東條 寛（四日市市教育委員会主幹）・谷本 鋭次（三重県立博物館長）

・南楠鯨船行事映像記録の作成・用具修理

① 14年度援助金 1,840千円

- ② 制作会社 株式会社CBCテレビ映画社
- ③ 指導委員 東條 寛（四日市市教育委員会主幹）・小西 恒典（名古屋市博物館学芸員）
- ・唐人踊り映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 1,500千円
 - ② 制作会社 三重テレビエンタープライズ株式会社
 - ③ 指導委員 鬼頭 秀明（中京大学非常勤講師）・東條 寛（四日市市教育委員会主幹）

〔分野別地域〕

- ・山神の獅子舞映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 1,500千円
 - ② 制作会社 三重テレビエンタープライズ株式会社
 - ③ 指導委員 鬼頭 秀明（中京大学非常勤講師）
- ・八幡神社の若子祭映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 3,000千円
 - ② 制作会社 有限会社海プロダクション
 - ③ 指導委員 植木 行宣（京都学園大学教授）・岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員）・櫻井 治男（皇学館大学教授）ほか
- ・松明調進行事映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 1,500千円
 - ② 制作会社 有限会社海プロダクション
 - ③ 指導委員 植木 行宣（京都学園大学教授）・岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員）・櫻井 治男（皇学館大学教授）
- ・正月堂の修正会映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 2,500千円
 - ② 制作会社 有限会社海プロダクション
 - ③ 指導委員 櫻井 治男（皇学館大学教授）・和田 光生（大津市歴史博物館学芸員）
- ・尾鷲ヤーヤ祭映像記録の作成
 - ① 14年度援助金 2,800千円
 - ② 制作会社 有限会社海プロダクション
 - ③ 指導委員 岡田 照子（三重県文化財保護審議会委員）・櫻井 治男（皇学館大学教授）・東條 寛（四日市市教育委員会学芸員）

6 民間等による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町村教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 地域の伝統文化助成（財団法人 安田生命クオリティオブライフ文化財団）
 - 野口御神楽保存会（一志町） 助成額 700千円
- (2) 文化財保存修理事業助成（財団法人 文化財保護振興財団）
 - 大日堂境内の五百羅漢修理（菰野町） 助成額 600千円

財団法人伝統文化活性化国民協会による伝統文化活動支援事業について、市町村教育委員会の推薦を受けた伝統文化活動を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- ・南納屋町鯨船保存会（四日市市） 助成額 40千円
- ・立坂神社獅子保存会（四日市市） 助成額 241千円
- ・一色能楽保存会（伊勢市） 助成額 500千円
- ・大淀祭典委員会（明和町） 助成額 133千円
- ・南楠鯨船保存会（楠町） 助成額 60千円

IV 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

・目的

銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

・開催期日

4/16 県庁舎会議室 5/21 県尾鷲庁舎会議室 6/18 県四日市庁舎会議室
7/16 県伊勢庁舎会議室 10/15 県津庁舎会議室 12/17 県上野庁舎会議室
2/18 県松阪庁舎会議室

・新規登録 刀剣類 320件 銃砲類 18件 登録件数累計 49,962件

・登録証再交付 刀剣類 28件 銃砲類 1件

・製作承認 刀剣類 0件（新規内数）

・登録審査委員

阿部 務（日本美術刀剣保存協会 三重県支部長）

荒木 知彦（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）

福井 款彦（熱田神宮文化研究員）

早川 繁一（日本美術刀剣保存協会 三重県支部）

(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

・目的

天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

・日時 平成14年5月19日（日）9：00～14：00

・場所 菰野町農村環境改善センター（菰野町潤田）

・審査員 中野 利久（日本犬保存会副会長・同顧問審査員）

 秦 正武（日本犬保存会参与審査員・同前三重支部長）

 久保 隆（日本犬保存会審査員・同三重支部長）

・登録日本犬

登録日	番号	犬名	性	所有者住所
H14. 6. 20	685	智成	雄	四日市市
H14. 6. 20	686	紀州の大王	雄	南牟婁郡御浜町
H14. 6. 20	687	国峰	雄	多気郡明和町
H14. 6. 20	688	鴨の楓	雌	伊勢市
H14. 6. 20	689	伊勢雪姫	雌	一志郡白山町

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

・目的

天然記念物日本鶏の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

・日時 平成14年5月26日（日）9：00～14：00

・場所 多気郡明和町大字竹川 斎宮歴史博物館駐車場

・審査員 大川 一彦（天然記念物日本鶏保存会事務局長）

 河村 逸彦（全国日本鶏保存会参与）

 富田 靖男（財三重県環境保全事業団特別研究員・元三重県立博物館長）

 萬野 利亮（三重県日本鶏保存会審査員）

・登録日本鶏

登録日	番号	鶏種	内種	性	所有者住所
H14. 6. 20	913	小国鶏	白藤種	番	度会郡二見町
H14. 6. 20	914	地鶏	狸々種	雌	度会郡二見町
H14. 6. 20	915	軍鶏	八木戸	番	度会郡二見町
H14. 6. 20	916	河内奴	—	番	度会郡二見町
H14. 6. 20	917	烏骨鶏	白色種	番	度会郡二見町
H14. 6. 20	918	烏骨鶏	白色種	雌	度会郡二見町
H14. 6. 20	919	烏骨鶏	白色種	雌	度会郡二見町
H14. 6. 20	920	小国鶏	白藤種	番	度会郡度会町
H14. 6. 20	921	烏骨鶏	白色種	番	度会郡二見町
H14. 6. 20	922	烏骨鶏	白色種	番	一志郡美杉村
H14. 6. 20	923	小国鶏	白藤種	番	一志郡美杉村
H14. 6. 20	924	小国鶏	白藤種	番	一志郡美杉村
H14. 6. 20	925	烏骨鶏	白色種	雄	一志郡一志町
H14. 6. 20	926	河内奴	—	番	熊野市
H14. 6. 20	927	小国鶏	白藤種	番	伊勢市

2 文化財の管理

(1) 指定文化財説明板設置

・設置文化財

大台町	三瀬砦跡	事業費	320千円(県50%)	160千円
延寿院(名張市)	石造燈籠	事業費	300千円(県50%)	150千円

(2) 文化財パトロール

- ・事業の概要 県下における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財調査員を任命して巡視活動を行っている。巡視活動の報告は各教育事務所において毎月まとめ、文化財保護チームへ報告されるとともに写しが当該市町村教育委員会に送付され、迅速な行政対応を行っている。
- ・巡視報告 各調査員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。なお、埋蔵文化財専門職員が配置されている市町村については、埋蔵文化財のパトロールはこの事業では実施していない。また、種別については「建：建造物」「彫：彫刻」「絵文：絵画文書」「考：考古資料」「有民：有形民俗文化財」「史：史跡」「天：天然記念物」「埋：埋蔵文化財」と略記した。

A：パトロール実施状況一覧

市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計	市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計
桑名市	1						3		4	宮川村							4	31	35
多度町									0	伊勢市	1	1	1				2		5
長島町									0	玉城町								12	12
木曾岬町									0	二見町								24	24
北勢町								19	19	小俣町								21	21
員弁町								6	6	南勢町							3		3
大安町								13	13	南島町							3		3
東員町									8	8	大宮町						1	1	2
藤原町							2		2	紀勢町									0
四日市市	2						13		15	度会町									0
菰野町		1					5	19	25	御蘭村									0
楠町									0	大内山村									0
朝日町									0	鳥羽市							1		1
川越町									0	浜島町							1	2	3

鈴鹿市		8			1	19		28	大王町									0
亀山市						1		1	志摩町		2				1	14		17
関町	4							4	阿児町	3								3
津市		3						3	磯部町									0
河芸町							44	44	上野市	10	2				4			16
芸濃町						2		2	名張市	1	1				7			9
美里村					7	1	21	29	伊賀町	1					4	12		17
安濃町		1						1	阿山町								18	18
久居市						1		1	島ヶ原村	2							9	11
香良洲町								0	大山田村								10	10
一志町						1		1	青山町	1					6			7
白山町		4						4	尾鷲市		2			3	8	3		16
嬉野町								0	紀伊長島町					1	4	6		11
美杉村						3		3	海山町					1		4		5
三雲町								0	熊野市	3			2	1	3	6		15
松阪市	7	6				1	1	15	御浜町				1		2	4		7
飯南町								3	紀宝町						1	2		3
飯高町						1	7	8	紀和町	2				1	1			4
多気町						1	5	6	鶯殿村								2	2
明和町						1		1										
大台町								44										
勢和村								49										
									合計	38	31	1	0	3	15	111	420	619

B：巡視報告で指摘等のあったもの

市町村	文化財の名称	指摘事項
員弁町	金井城跡	埋土により堀の現状が変化
大安町	大井田城跡	道路拡幅により城跡関連遺構の土累を削平
四日市市	四日市市旧港湾施設	護岸上に配管露出。潮吹き部分の内側が埋まっている
	西阿倉川アイナシ自生地	入口がわかりにくい
菰野町	伊奈富神社神宝	収蔵庫のいたみがはげしい
	若狭屋敷跡	東側隣地が整地されており注意を要する
	田光のシデコブシ群落	群落内にゴミ多数放置あり
	杉谷中世墓跡	五輪石が倒壊・散乱
	黒石原古墳群	石碑の周りに物が置かれ煩雑
	奥郷浦七ツ塚古墳群	石碑の消失、墳丘の西側が崩れつつある
鈴鹿市	石薬師の浦ザクラ	食害を受け、ほとんど葉がない枝有り
河芸町	三行城跡	重機が入り土盛りを行っている
美里村	長野城跡	郭内でたき火の痕跡あり
白山町	木造薬師如来坐像	表面に漆箔のウキが見られる
多気町	栃ヶ池湿地植物群落	クチナシ群落が減少
明和町	斎宮のハナショウブ群落	雑草が繁茂してノハナショウブの成長を妨げている
勢和村	新神馬場遺跡	付近で道路の拡幅工事が実施されている
南勢町	鬼ヶ城暖地性シダ群落	乾燥化が進みシダの種類や量が減少
	細谷暖地性シダ群落	指定の対象となったシダ植物はほとんど見られない
南島町	道方の浮島	池のコイが希少な水草を食べてしまう可能性がある
鳥羽市	奈佐のヤマトタチバナ	標柱が倒壊している
上野市	真盛廟	桧皮の一部がいたみ始めている
	常住寺閻魔堂	東側廻縁の床板の一部に腐りあり
	旧崇廣堂	小玄関西軒廻りに漏水あり、木部に腐りあり
	旧三重県第三尋常中学校校舎	当直室の床版にきしみあり
	養虫庵	南西角の草葎及び板屋根に漏水腐朽あり
	猪田神社本殿	周辺樹木に倒壊のおそれあり
名張市	杉谷神社本殿	蓼股3箇所欠損
伊賀町	春日神社拜殿	基礎に割れ、歪み、木部全般に変形腐りあり

島ヶ原村	観菩提寺本殿	回廊の床板の一部で木口の腐りあり
	観菩提寺楼門	柱の一部の根継部にゆるみ有り。木鼻の一部に腐りあり
紀伊長島町	豊浦神社社叢	社殿改築のためニホンタチバナやバクチノキを伐採
熊野市	徳司神社	説明版が現状にそぐわない
紀宝町	神内神社樹叢	説明版が無くなっている

(三重県文化財調査員)

北勢教育事務所管内 松本 覚 (白瀬小学校) 鎌田雅生 (西陵中学校) 川添 護 (桑名高校) 桐生定巳 (四日市市少年自然の家) 嶋村明彦 (関町教育委員会) 園田純子 (津市教育委員会)	中勢教育事務所管内 服部久士 (津東高校) 齋藤直樹 (立成小学校) 下村純也 (久居市教育委員会) 嶋村明彦 (関町教育委員会) 園田純子 (津市教育委員会)	松阪教育事務所管内 増田安生 (飯高西中学校) 奥 義次 (度会高校) 三井博之 松月和明 (津工業高校) 藤田直信 (嬉野町教育委員会)
南勢志摩教育事務所管内 大西素行 (一之瀬小学校) 北畠充生 (南島中学校) 田村陽一 (宇治山田高校) 村上喜雄 竹内正弘 (布施田小学校) 前川嘉宏 (有田小学校) 橋本 清 (伊勢高校) 岡 興一 松月久和 (津工業高校) 藤田直信 (嬉野町教育委員会)	上野教育事務所管内 市田進一 寺岡光三 (森精機製作所) 松月茂明 (日本サンショウウオセンター) 杉澤 学 (奈良女子大附属小学校) 滝井利彰 (タック設計室) 瀧川和也 (県史編纂室)	尾鷲教育事務所管内 津田雄一郎 (志子小学校) 山本和彦 (長島高校) 田崎通雅 (尾鷲市教育委員会)
		熊野教育事務所管内 福村直人 (新鹿小学校) 花尻 薫 岩本直樹 (入鹿小学校)

(3) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財調査員会議

県下における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町村文化財保護行政担当者、各教育事務所文化財担当者、並びに、県文化財調査員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
北勢・中勢・伊賀	平成14年7月22日(月) 14:00~16:40	三重県人権センター 大セミナー室
松阪・南勢志摩	平成14年7月19日(金) 14:00~16:40	斎宮歴史博物館 講堂
尾鷲・熊野	平成14年7月23日(火) 14:00~16:40	県熊野庁舎 第9会議室

- ・内 容 平成14年度文化財保護事業の概要
指定文化財に関する事務手続きなどについて
開発事業と埋蔵文化財保護について
市町村合併に向けての留意事項
文化財パトロールの実施について
- ・出席者 市町村教育委員会文化財保護担当者
各教育事務所文化財担当者
三重県文化財調査員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

- ・目 的 オオサンショウウオの保護管理について県関係部局および関係市町村に周知するとともに、保護管理について共通認識を得る
- ・日 時 平成15年1月28日(火) 13:30~16:00
- ・場 所 青山町公民館 2F中ホール(青山町阿保1411)
- ・指導委員

- ・内 容 ① 講演「オオサンショウウオの生態と多自然型河川工事」
 姫路市立水族館長 柄本武良氏
- ② 河川工事等の事前調査や保護捕獲調査についての標準仕様について。
- ③ オオサンショウウオ保護についての意見交換
- ・指導委員 松井 正文（京都大学大学院人間・環境学研究科 教授）
 富田 靖男（財団法人三重県環境保全事業団 特別研究員）
 松月 茂明（日本サンショウウオセンター 所長）
 清水 善吉（三重県立松阪高等学校 教諭）

(4) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成14年4月から15年3月までに処理を行った当該通知・届出は以下のとおりである。

区分 地域	57条の2										57条の3								57 条 1 項	58 条 の 2	計				
	工 場	個 人 住 宅	住 宅	店 舗	そ の 他 建 物	宅 地 造 成	土 地 区 画 整 理	土 砂 採 取	水 道 ・ ガ ス	農 業 関 係	そ の 他 開 発	道 路	河 川	学 校	工 場	そ の 他 建 物	公 園 造 成	水 道 ・ ガ ス				下 水 道	農 業 関 係	そ の 他 開 発	
桑名市		12	4	1	3	2					3							2					16	41	
多度町		7		1	1																			9	
長島町																								0	
木曾岬町																								0	
北勢町																								0	
員弁町																								0	
大安町																								0	
東員町																								0	
藤原町																								0	
四日市市	1	4	3	1		2			2	1	4						2	13	5	3			1	42	
菰野町																								0	
楠町																								0	
朝日町																								0	
川越町																								0	
鈴鹿市		25	6	1	13	2				1	1	2							1				6	58	
亀山市												1												5	6
関町																								0	
津市						1																		1	
河芸町																								0	
芸濃町					1																			1	2
美里村																								0	
安濃町	1																							1	
久居市																								0	
香良洲町													1											1	
一志町			1																					1	
白山町																						1		1	
嬉野町		14	2	3	1	1							1					1						23	
美杉村											1										1		3	5	
三雲町		7	1		3	4										1								16	
松阪市																								0	
飯南町																								0	

飯高町																																						0	
多気町																																							0
明和町			2		1				1																													4	
大台町																																						0	
勢和村																																						0	
宮川村																																						0	
伊勢市																																						0	
玉城町													1																						1			2	
二見町				1									1																									2	
小俣町													1																						1		2	4	
南勢町																																						0	
南島町																																						0	
大宮町																																						0	
紀勢町																																						0	
度会町																																						0	
御薮村																																						0	
大内山村																																						0	
鳥羽市																																						0	
浜島町																																						0	
大王町																																						0	
志摩町																																						0	
阿見町																																					1	1	
磯部町																																						0	
上野市				1						1			2		1		1																	2		2	10		
名張市																																						0	
伊賀町																																						0	
阿山町																																						0	
鳥ヶ原村																																						0	
大山田村																																						0	
青山町																																						0	
尾鷲市																																						0	
紀伊長島町																																						0	
海山町																																						0	
尾鷲市																																						0	
熊野市																																						0	
御浜町																																						0	
紀宝町																																						0	
紀和町																																						0	
鵜殿村																																						0	
三重県													8	2																					10	2	15	38	
国・公団													2	3																					1	7	13		
計	2	69	18	8	24	10	0	1	2	2	5	23	5	3	0	3	1	3	17	18	6	1	58	279															

(5) 埋蔵物の文化財認定

No.	認定日	物件名	発見日	発見者	発見場所	土地所有者	保管場所
1	H14. 4. 3	須恵器・土師器 整理箱3箱	H14. 2. 28	亀山市教育 委員会	亀山市川崎町 (御幣立遺跡)	有限会社 シラカワ	亀山市教育委員 会文化財整理所
2	H14. 4. 3	土師器・須恵器・中世陶磁 器・近世瓦・近世陶磁器・ 墓石部材 整理箱26箱	H14. 2. 28	亀山市教育 委員会	亀山市本丸町 (亀山城跡)	三重県	亀山市教育委員 会文化財整理所
3	H14. 4. 3	土師器・中世陶磁器・近 世瓦・近世陶磁器 整理箱26箱	H14. 2. 28	亀山市教育 委員会	亀山市江ヶ室町 (亀山城下町遺跡)	三重県	亀山市教育委員 会文化財整理所
4	H14. 4. 3	土器・金属器・石製品等 整理箱381箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第124・ 126次)	個人	斎宮歴史博物館
5	H14. 4. 3	土器・金属器・石製品等 整理箱19箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮・竹川 (斎宮跡第125-1 ~4次)	個人・明和町	斎宮歴史博物館
6	H14. 4. 3	土器・石器等 整理箱45箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第127・ 129次)	個人・明和町	斎宮歴史博物館
7	H14. 4. 3	土器・金属器・石製品等 整理箱24箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第123-1 ~5次)	個人・明和町	斎宮歴史博物館
8	H14. 4. 3	土器・石器等 整理箱275箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第130次)	個人	斎宮歴史博物館
9	H14. 4. 3	土器・金属器・石製品等 整理箱7箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮・竹川 (斎宮跡第131次)	個人	斎宮歴史博物館
10	H14. 4. 3	土器・石器等 整理箱29箱	H14. 3. 22	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第132次)	明和町	斎宮歴史博物館
11	H14. 4. 15	石器・土師器・須恵器・ 金環・近世陶磁器 整理箱101箱	H14. 3. 15	朝日町教育 委員会	朝日町大字柿 (城之広遺跡)	朝日町柿地区区 画整備組合	朝日町歴史博物館
12	H14. 4. 15	須恵器・土師器・黒色土 器等 整理箱90箱	H14. 4. 10	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第133次)	個人・明和町	斎宮歴史博物館
13	H14. 4. 15	須恵器・土師器・緑釉陶 器等 整理箱20箱	H14. 4. 10	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第135次)	明和町	斎宮歴史博物館
14	H14. 4. 15	須恵器・土師器・緑釉陶 器等 整理箱8箱	H14. 4. 10	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第134- 9次)	個人	斎宮歴史博物館
15	H14. 4. 16	土師器・須恵器・山茶碗 等 整理箱160箱	H14. 3. 25	三重県教育 委員会	松阪市豊原町・ 安楽町(琵琶垣 内遺跡他)	橿田上土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
16	H14. 4. 23	弥生土器・土師器・須恵 器・灰釉陶器・山茶碗・ 常滑焼・瓦片・砥石片 整理箱75箱	H14. 4. 8	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市岸岡町 (天王遺跡)	三重県厚生農業 協同組合連合会	鈴鹿市考古博物館
17	H14. 5. 13	埴輪(円筒・朝顔形) 整理箱1箱	H14. 3. 27	宮内庁 書陵部	亀山市田村町 (能褒野王塚古墳)	宮内庁	宮内庁書陵部倉庫
18	H14. 7. 1	縄文土器・中世瓦器・土 師器 整理箱50箱	H14. 5. 31	青山町教育 委員会	青山町川上 (川上中繩手遺 跡ABC地区)	水資源開発公団	青山町教育委員会
19	H14. 7. 1	縄文土器・中世瓦器・土 師器 整理箱20箱	H14. 5. 31	青山町教育 委員会	青山町川上 (川上中繩手遺跡)	水資源開発公団	青山町教育委員会
20	H14. 7. 1	須恵器・土師器・中世陶 磁器・ 近世陶磁器・木製品 整理箱101箱	H14. 3. 31	亀山市教育 委員会	亀山市辺法寺 (網中遺跡)	日本道路公団	亀山市教育委員 会文化財整理所
21	H14. 7. 1	旧石器・中世瓦器・土師 器 整理箱5箱	H14. 5. 31	青山町教育 委員会	青山町阿保 (古暴岩跡他)	水資源開発公団	青山町教育委員会
22	H14. 7. 31	中・近世陶磁器 トレ-363箱	H13. 2. 21	山吉圭作	紀伊長島町東長 島 (仮) 浅間遺跡)	国	山吉氏自宅

23	H14. 8. 19	縄文土器・弥生土器・須 恵器・陶器 整理箱11箱	H14. 8. 13	三重県教育 委員会	美杉村八知 (庄屋田遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
24	H14. 8. 29	土器・石器等 整理箱40箱	H14. 8. 23	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第136次)	明和町	斎宮歴史博物館
25	H14. 9. 24	須恵器・土師器・弥生土 器・中近世陶磁器・勾玉・ 管玉等装身具 整理箱296箱	S 40. 1. 30 他	久居市教育 委員会	入田古墳ほか12 遺跡		久居市教育委員 会文化財整理室
26	H14. 10. 23	弥生土器 整理箱 6 箱	H14. 9. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市須賀 (須賀遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
27	H14. 11. 11	土師器・山茶碗・緑釉陶 器・鉄製品・石器等 整理箱20箱	H14. 10. 10	芸濃町教育 委員会	芸濃町多門 (北奥遺跡)	三重県	芸濃町総合文化 センター
28	H14. 11. 27	陶器・土師器・木製品・ 鉄製品 整理箱140箱	H14. 10. 25	一志町教育 委員会	一志町八太 (井ノ尻・浦ノ 戸遺跡)	一志町	一志町教育委員会
29	H14. 11. 27	土師器 整理箱 2 箱	H14. 9. 3	白山町教育 委員会	白山町川口 (大角遺跡隣接地)	個人	白山町教育委員 会資料室
30	H14. 11. 27	須恵器・土師器・灰釉陶 器・井戸側木材等 整理箱32箱	H14. 11. 13	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市岸岡町 (天王遺跡)	三重県厚生農業 協同組合連合会	鈴鹿市考古博物館
31	H14. 12. 3	須恵器・土師器等 整理箱61箱	H14. 11. 28	三重県教育 委員会	松阪市上川町 (丸野遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
32	H14. 12. 3	縄文土器等 整理箱12箱	H14. 11. 28	三重県教育 委員会	松阪市豊原町 (中谷遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
33	H14. 12. 11	縄文土器・弥生土器・土 師器・須恵器 整理箱28箱	H14. 3. 28	久居市教育 委員会	久居市戸木町 (上野遺跡)	個人等	久居市教育委員 会文化財整理室
34	H14. 12. 16	平瓦・丸瓦・土師器・須 恵器 整理箱 5 箱	H14. 11. 29	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市広瀬町 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
35	H14. 12. 16	土師器・須恵器等 整理箱 5 箱	H14. 12. 11	三重県教育 委員会	四日市市伊坂 (東海道想定地)	日本道路公団	三重県埋蔵文化 財センター
36	H14. 12. 19	土師器・陶器等 整理箱20箱	H14. 12. 13	三重県教育 委員会	松阪市魚見町 (魚見里前遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
37	H15. 1. 6	陶器・土師器 整理箱30箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	亀山市三寺町 (金森遺跡他)	三寺土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
38	H15. 1. 6	土師器・山茶碗等 整理箱26箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	鈴鹿市十宮町 (八重垣神社遺跡)	鈴鹿川沿岸土地 改良区	三重県埋蔵文化 財センター
39	H15. 1. 7	弥生土器・土師器・須恵 器等 整理箱150箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	津市野田 (替田遺跡)	津中部土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
40	H15. 1. 7	須恵器・土師器等 整理箱 6 箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	津市南河路 (立花堂遺跡)	津中部土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
41	H15. 1. 7	土師器・陶器・木製品等 整理箱30箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	津市野田 (里前遺跡)	津中部土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
42	H15. 1. 14	土器・金銅製金具等 整理箱40箱	H14. 12. 24	三重県教育 委員会	明和町竹川 (斎宮跡第137次)	明和町・個人	斎宮歴史博物館
43	H15. 1. 14	弥生土器・土師器・須恵 器等 整理箱100箱	H14. 12. 27	三重県教育 委員会	嬉野町天花寺 (天花寺城跡他)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
44	H15. 1. 24	土師器・須恵器・瓦器等 整理箱 2 箱	H14. 12. 27	三重県教育 委員会	青山町北山 (六地藏B遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
45	H15. 2. 3	縄文土器・石器・土師器 等 整理箱265箱	H15. 1. 24	三重県教育 委員会	松阪市広瀬町 (大原塚遺跡)	茅広江土地改良区	三重県埋蔵文化 財センター
46	H15. 2. 4	縄文土器・弥生土器・土 師器・須恵器・灰釉陶器・ 緑釉陶器 整理箱800箱	H15. 1. 20	三重県教育 委員会	四日市市大矢知町 (久留部遺跡)	国土交通省	四日市市教育委員 会文化財整理 作業所
47	H15. 2. 4	弥生土器・土師器・須恵 器・瓦・製塩土器等 整理箱60箱	H15. 1. 17	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市岸丘町 (天王遺跡)	三重県厚生農業 協同組合連合会	鈴鹿市考古博物館
48	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱 3 箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町天花寺 (小谷赤坂遺跡)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター

49	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱1箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町黒田 (野田遺跡)	日の出地所	嬉野町埋蔵文化 財センター
50	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱1箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町野田 (野田遺跡)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター
51	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱1箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町下之庄 (上野廃寺)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター
52	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱1箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町下之庄 (上野廃寺)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター
53	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱1箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町宮古 (平生遺跡)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター
54	H15. 2. 18	須恵器・土師器 整理箱2箱	H15. 1. 30	嬉野町教育 委員会	嬉野町釜生田 (天白遺跡)	個人	嬉野町埋蔵文化 財センター
55	H15. 2. 18	土師器・須恵器等 整理箱90箱	H15. 2. 14	三重県教育 委員会	上野市大谷 (北門遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
56	H15. 3. 7	陶器・磁器・瓦 整理箱2箱	H11. 8. 17	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
57	H15. 3. 7	陶器・磁器・瓦 整理箱28箱	H 2. 1. 17	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
58	H15. 3. 7	土器・陶器・磁器・金属 製品・銭貨 整理箱26箱	H 4. 5. 11	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
59	H15. 3. 7	土器・陶器・磁器・瓦・ 石硯 整理箱23箱	H 6. 1. 9	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
60	H15. 3. 7	土器・陶器・磁器・瓦・ 石硯 整理箱69箱	H 8. 6. 3	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
61	H15. 3. 7	土器・陶器・磁器・瓦・ 銭貨 整理箱111箱	H 9. 2. 6	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
62	H15. 3. 7	土器・陶器・磁器・瓦・ 石硯・銅製品 整理箱57箱	H 9. 11. 28	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (旧崇廣堂)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
63	H15. 3. 7	須恵器・土師器・玉類・ 木製品 整理箱55箱	H 6. 5. 23	上野市教育 委員会	上野市比土 (城之越遺跡)	上野市	上野市教育委員 会文化財整理所
64	H15. 3. 17	縄文土器・陶器・木製品 等 整理箱280箱	H15. 3. 10	三重県教育 委員会	桑名市志知 (南浦遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
65	H15. 3. 20	土師器・須恵器・瓦器・ 陶器等 整理箱20箱	H15. 3. 12	三重県教育 委員会	上野市荒木 (荒木氏館跡)	中瀬川南土地改 良区	三重県埋蔵文化 財センター
66	H15. 3. 20	土師器・瓦器・陶器等 整理箱41箱	H15. 3. 12	三重県教育 委員会	上野市荒木 (宮/前遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化 財センター
67	H15. 3. 25	土師器・陶器・木製品・ 金属製品等 整理箱398箱	H15. 3. 20	三重県教育 委員会	三雲町小津 (小津遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化 財センター
68	H15. 3. 25	土師器・灰釉陶器・山茶 碗等 整理箱170箱	H15. 3. 20	三重県教育 委員会	三雲町中道他 (中林・中道遺 跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化 財センター
69	H15. 3. 25	土師器・陶器・山皿等 整理箱3箱	H15. 3. 20	三重県教育 委員会	嬉野町川北 (柏木遺跡)	国土交通省	三重県埋蔵文化 財センター
70	H15. 3. 26	須恵器・土師器等 整理箱1箱	H15. 2. 10	明和町長	明和町金剛坂 (川原口遺跡)	個人	明和町出土遺物 格納庫
71	H15. 3. 26	弥生土器等 整理箱2箱	H15. 2. 10	明和町長	明和町金剛坂 (川原口遺跡)	個人	明和町出土遺物 格納庫
72	H15. 3. 26	弥生土器・土師器 整理箱2箱	H15. 2. 10	明和町長	明和町金剛坂 (寺垣内遺跡他)	個人	明和町出土遺物 格納庫
73	H15. 3. 26	土師器・山茶碗等 整理箱2箱	H15. 2. 10	明和町長	明和町金剛坂 (神殿遺跡)	個人	明和町出土遺物 格納庫
74	H15. 3. 28	土器・石器等 整理箱21箱	H15. 3. 20	三重県教育 委員会	明和町斎宮 (斎宮跡第138次)	個人	斎宮歴史博物館
75	H15. 3. 31	須恵器・土師器・瓦・灰 釉陶器・山茶碗等 整理箱3箱	H15. 3. 14	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市国分町 (伊勢国分寺跡)	鈴鹿市	鈴鹿市考古博物館

(6) 出土文化財の譲与

No.	申請日	申請者	物件名	発見場所	発見日	保管場所
1	H14. 6. 13	鈴鹿市教育委員会	土師器・須恵器・山茶碗 整理箱8箱	鈴鹿市中瀬古町 (中瀬古南遺跡)	H13. 10. 23	鈴鹿市考古博物館
2	H14. 6. 13	鈴鹿市教育委員会	土師器・須恵器・丸瓦・平瓦・軒 丸瓦・軒平瓦・灰釉陶器・鉄製刀 子・磨製石斧 整理箱29箱 土嚢袋164袋	鈴鹿市国分町 (伊勢国分寺跡)	H13. 10. 31	鈴鹿市考古博物館
3	H14. 7. 16	四日市市教育委員会	弥生土器・土師器・須恵器・中世 陶器 整理箱20箱	四日市市貝家町 (菅野遺跡)	H12. 7. 25	四日市市教育委員会 文化財整理作業所
4	H14. 7. 16	四日市市 教育委員会	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉 陶器・緑釉陶器・山茶碗・瓦・土 製品・陶製品・金属製品・木製品・ 石製品 整理箱55箱	四日市市大矢知町 (大矢知山畑遺跡)	H13. 1. 15	四日市市教育委員会 文化財整理作業所
5	H14. 7. 16	四日市市 教育委員会	弥生土器等 整理箱20箱	四日市市大矢知町 他 (山奥遺跡第9次)	H13. 7. 17	四日市市教育委員会 文化財整理作業所
6	H14. 7. 16	四日市市 教育委員会	弥生土器 整理箱35箱	四日市市東坂部町 (久留部遺跡)	H13. 12. 25	四日市市教育委員会 文化財整理作業所
7	H15. 1. 31	朝日町教育委員会	石器・土師器・須恵器・金環・近 世陶磁器 整理箱101箱	朝日町城之広 (城之広遺跡)	H14. 3. 15	朝日町歴史博物館
8	H15. 3. 14	三雲町教育委員会	土師器・陶器等 整理箱7箱	三雲町曾原 (松本権現前遺跡)	H13. 8. 23	三雲町教育委員会 事務局

3 国・県指定文化財の現状変更等(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(1) 国指定文化財現状変更等

① 国指定史跡及び名勝等現状変更

(*印は県の法定受託事務等による許可)

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
上野城跡	上野市 ほか	市長	—	H14. 8. 27 * (上野市許可)	H14. 11. 5	電柱の移設
		市長	H14. 10. 11	H14. 11. 15	取り下げ	事前発掘調査
		市長	—	H14. 12. 9 * (上野市許可)	H14. 12. 24	基準点の設置
		市長	—	H14. 12. 10 * (上野市許可)	H15. 1. 16	道路の修繕
		市長	H14. 12. 16	H15. 2. 21	H15. 3. 24	芭蕉記念館身障 者リフト設置
伊勢国分寺跡	鈴鹿市	市教育長	H14. 3. 7	H14. 4. 19	H15. 3. 20	整備に伴う発掘 調査
天白遺跡	嬉野町	町教育長	H14. 8. 26	H14. 9. 20		整備に伴う発掘 調査
旧諸戸氏庭園	桑名市	市教育長	H15. 2. 4	H15. 2. 28		多目的トイレ増築
熊野参詣道 (三浦峠道)	国交省	東紀州活性 化協議会長	H15. 3. 7	H15. 3. 13 *	H15. 3. 31	案内板の設置

② 国指定史跡斎宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	27件	内、法定受託事務等による許可 7件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	6件	内、法定受託事務等による許可 1件
史跡環境整備及び維持管理に伴う申請	3件	内、法定受託事務等による許可 1件
計画的発掘調査のための申請	3件	内、国庫補助金による計画発掘調査 3件
計	39件	

③ 国指定天然記念物現状変更

(* 印は県等の法定受託事務等による許可)

件名	所有者 管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
熊野の鬼ヶ城	熊野市	熊野市長	H14. 7. 12	H14. 7. 25* (熊野市許可)	—	花火用筒等の一時的な設置
		三重県知事	H14. 11. 20	H14. 12. 20		防護柵設置等
オオサンショウウオ		水資源開発公団	H14. 5. 10	H14. 6. 21		生態調査
		三重県知事	H14. 7. 15	H14. 9. 2*	H15. 3. 18	生息状況調査
		三重県知事	H14. 8. 28	H14. 9. 10*	H15. 3. 24	生息状況調査
		三重県知事	H14. 9. 6	H14. 11. 15		工事に伴う一時捕獲および移動
		三重県知事	H14. 9. 27	H14. 10. 2*	H15. 3. 24	生息状況調査
		三重県知事	H14. 10. 4	H14. 11. 15		工事に伴う一時捕獲および移動
ネコギギ		三重県知事	H14. 4. 24	H14. 6. 21		工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H14. 6. 12	H14. 8. 26		工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H14. 6. 26	H14. 7. 1*		魚介類調査
		三重県知事	H14. 7. 5	H14. 8. 26	H15. 3. 20	工事に伴う一時捕獲及び移動
		南勢志摩県民局農林商工部長	H14. 7. 25	H14. 9. 20	H15. 3. 20	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H14. 8. 22	H14. 9. 10*	H14. 11. 25	生息状況調査
		三重県知事	H14. 10. 28	H14. 12. 6		工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H14. 11. 15	H14. 11. 29*		生息状況調査
		三重県知事	H14. 11. 28	H14. 12. 20		工事に伴う一時捕獲及び移動
三重県知事	H15. 1. 8	H15. 2. 3*		生息状況調査		
カモシカ		日本カモシカセンター	H14. 10. 24	H14. 10. 30*	H14. 11. 21	動物園間の譲り受け

④ 重要文化財現状変更

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
専修寺御影堂	専修寺	専修寺代表役員	H14. 9. 24	H14. 11. 22		修理事業に伴う向拝彩色復旧ほか

⑤ 重要文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
旧諸戸家住宅	桑名市	H14. 11. 12	H15. 1. 中旬～ H15. 3. 中旬	洋館窓建具の修理

⑥ 国指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出者	届出日	滅失日	滅失内容
カモシカ	日本カモシカセンター	H14. 5. 20	H14. 5. 15	藤原町地内の崖から転落したと思われる個体を日本カモシカセンターが保護。その後死亡。脊椎損傷しており転落死と思われる。
		H14. 8. 23	H14. 8. 9	菰野町内で起立不全の個体を日本カモシカセンターが保護。その後死亡。推定年齢20歳以上であり老衰と思われる。
	尾鷲市教委	H14. 8. 28	H14. 8. 16	国道脇で死亡している個体をパトローカーが発見。交通事故の可能性もあるが特に外傷無し。
	日本カモシカセンター	H14. 10. 18	H14. 10. 17	大安町の民家で一時保護されていた幼獣を日本カモシカセンターが保護。授乳を受け付けず死亡。
	宮川村教委	H14. 11. 11	H14. 10. 28	民家の周辺で死亡。衰弱死と思われる。
	日本カモシカセンター	H15. 1. 15	H15. 1. 11	国内の動物園より譲り受けた幼獣。下痢脱水症状が続き死亡。
	飯高町教委	H15. 1. 17	H15. 1. 10	林道脇で死亡個体を発見。パラボックス病と思われる症状が見られた。
	大安町教委	H15. 3. 5	H15. 2. 20	岩壁下で死亡個体を発見。外観に異常は見られず転落死と思われた。
	大安町教委	H15. 3. 5	H15. 3. 21	林道道路脇で死亡個体を発見。皮膚に白いこぶ状の疾患が見られた。
日本カモシカセンター	H15. 3. 18	H15. 3. 14	近隣のキャンプ場での衰弱個体を日本カモシカセンターで保護後死亡。	

⑦ 重要文化財き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
町井家住宅	個人	H14. 9. 30	H13. 12上旬	正面軒柱及び垂壁の一部破損

⑧ 重要無形文化財 保持者等変更届

件名	保持者	届出日	変更日	変更内容
伊勢型紙糸入れ	城ノ口 みゑ	H15. 1. 20	H15. 1. 16	死亡

⑨ 国指定文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
三島平茶碗	個人	（勸）諸戸会	H14. 3. 14	H14. 6. 24	H14. 8. 19	財団への寄付
虎関師鍊墨蹟						
大覚禅師墨蹟						

⑩ 所有者等以外の重要有形民俗文化財の公開事前届出免除施設の承認

公開承認施設	承認日	承認期間
四日市市立博物館	H14. 6. 1	H14. 6. 1～H19. 6. 2
斎宮歴史博物館	H14. 6. 1	H14. 6. 1～H19. 6. 2

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

件名	所有者管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
田丸城跡	玉城町	町長	H14. 5. 23	H14. 6. 3		整備に伴う発掘調査
松阪城跡	松阪市	市長	H14. 11. 12	H14. 11. 20		動物舎解体
		市長	H14. 11. 12	H14. 11. 20		石垣修復

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有者管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
鈴島暖地性植物群落	紀伊長島町	総合企画局長	H14. 6. 7	H14. 6. 7	H14. 6. 8	県政だよりの取材調査
丸山庫蔵寺のイスノキ樹叢	庫蔵寺	庫蔵寺	—	H14. 9. 6* (鳥羽市許可)	H14. 9. 13	倒伏したイスノキの伐採
川俣神社のスタジイ	庄野町自治会	庄野町自治会長	H14. 12. 18	H14. 12. 26	H15. 3. 20	樹勢回復
地藏大マツ	西玉垣町自治会	西玉垣町自治会長	H15. 2. 16	H15. 2. 20	H15. 3. 13	樹勢回復

③ 県指定有形文化財現状変更

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
入交家住宅	上野市	市長	H14. 9. 11	H14. 9. 13		保存整備事業

④ 県指定文有形文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
専修寺御廟拜堂及び唐門	専修寺	H14. 5. 31	H14. 5. 31～ H14. 6. 14	拜堂の白壁・床の修理
専修寺唐門	専修寺	H14. 8. 1	H14. 8. 8～ H14. 8. 14	屋根野地板・檜皮の一部修理

⑤ 県指定文化財所在場所の変更

件名	所有者	旧所在地	新所在地	変更日	届出日	受理日	変更理由
銅造如来立像	白塚地区	津市白塚町 4561-1	津市一身田町 2819 専修寺	H14. 8. 19	H14. 8. 19	H14. 9. 13	寄託
紙本淡彩谷川土清肖像画	津市	多気郡明和町 竹川503 斎宮 歴史博物館	津市大谷町11 三重県立美術館	H14. 10. 16	H14. 9. 26	H14. 10. 16	寄託先変更

⑥ 県指定文化財所在場所の変更（元の所在場所に復する場合）

件名	所有管理者	変更場所	変更期間	変更理由
紺紙金銀阿惟越致遮経 下巻	徳蓮寺 (ふるさと多度文学館)	徳蓮寺	H14. 4. 4～ H14. 4. 9	本寺での一時公開のため
鳥居古墳出土押出仏・磚仏のうち押出仏	三重県立博物館	大阪歴史博物館 ほか	H15. 5. 16～ H15. 3. 15	奈良文化財研究所ほか主催「飛鳥・藤原京展」へ出展のため
宇流富志禰神社能狂言面	宇流富志禰神社	名張市総合体育館	H14. 5. 12～ H14. 5. 12	市民への公開のため
常光坊谷4号墳出土品のうち人物埴輪等	松阪市教育委員会	可児郷土歴史館	H14. 9. 13～ H14. 12. 2	可児郷土歴史館主催「埴輪スペシャル」に出展のため
水晶舎利塔	新大仏寺	大阪府立狭山池博物館	H14. 9. 17～ H14. 12. 15	狭山池博物館ほか主催「重源とその時代の開発」に出展のため
大入道山車	中納屋町自治会	NHKホール	H15. 2. 26～ H15. 3. 4	第3回地域伝統芸能まつりに出演のため
木簡(柚井遺跡1号)	個人	ふるさと多度文学館	H15. 1. 27～ H15. 2. 21	多度町教委主催「多度の遺跡をさぐる」に出展のため
木簡(柚井遺跡2号)	皇学館大学			
紙本淡彩谷川土清肖像画	津市教育委員会	石水博物館	H15. 2. 4～ H15. 5. 26	石水博物館主催「谷川土清—その生涯と業績」に出展のため

⑦ 県指定文化財公開届（公開承認施設による）

件名	所有者	届出者	届出日	変更期間	変更理由
銅 鐸	菟上耳利神社	四日市市立博物館	H14. 11. 11	H14. 9. 23～ H14. 10. 25	四日市市立博物館ほか主催「第22回三重県埋蔵文化財展」へ出展のため
木簡(柚井遺跡1号)	個人				

⑧ 県指定文化財の撮影掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県教育委員会	小学館	H14. 4. 9	H14. 4. 15	「江戸時代歴史館」に図版掲載
		知多市歴史民俗博物館	H14. 5. 24	H14. 5. 28	「海からのめぐみ」展でパネル展示
		講談社	H14. 9. 27	H14. 10. 2	オブラ特集「マクロを味わい尽くす」に掲載
		あいち知多農協	H14. 11. 25	H14. 11. 29	広報誌「あぐりっ子」への掲載
		NHK中部ブレーンズ	H15. 1. 23	H15. 1. 28	NHKテレビ番組で放映
		The Mie Times	H15. 3. 1	H15. 3. 6	The Mie Times 4. 5月59号への掲載

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

- ① 地域文化功労者文部科学大臣表彰
被表彰者 間 宮 忠 夫 氏
- ② 教育功労表彰
被表彰者 羽 田 光 雄 氏
- ③ 財団法人文化活性化国民協会表彰
被表彰団体 伊勢型紙技術保存

(2) 文化財講習会（第20回）

- ・目 的 文化財保護に携わっている三重県文化財調査員、県及び市町村文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
- ・主 催 三重県教育委員会
三重県指定文化財等所有者連絡協議会
- ・期 日 平成14年11月5日（火）
- ・場 所 アスト津 アストホール
- ・参加者 130名
- ・内 容 ①「仏像を災害から護る」
赤 川 一 博 氏（四日市市立博物館主幹兼学芸員）
②「近代和風建築」調査について」
菅 原 洋 一 氏（三重大学助教授）

(3) 第44回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会・平成14年度国際民俗芸能フェスティバル

- ・趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高める事を目的とする。
また、国際民俗芸能フェスティバルとして中華人民共和国 白族の民俗芸能団体も出演した。
- ・主 催 文化庁・岐阜県教育委員会
平成14年度国際民俗芸能フェスティバル・第44回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
- ・後 援 高山市教育委員会・岐阜新聞・岐阜放送・中日新聞社・毎日新聞岐阜支局・朝日新聞社・NHK岐阜放送局・中部日本放送・東海テレビ放送・名古屋テレビ放送・時事通信社・共同通信社・中京テレビ放送㈱
- ・協 賛 全国民俗芸能保存振興市町村連盟
- ・期 日 平成14年11月10日（日） 12:00～17:00
- ・会 場 飛騨・世界生活文化センター（コンベンションホール）
- ・出演団体 吉沢嘉例踊り（三重）／浄舞（兵庫）／寺方提灯踊り（大阪）／藤白の獅子舞（和歌山）／延勝寺の太鼓踊り（滋賀）／曾禰の獅子舞（奈良）／山国隊軍楽（京都）／綾渡の夜念仏と盆踊（愛知）／水海の田楽能舞（福井）／粟生の獅子舞（石川）／といちんさ節・お小夜節・五箇山追分節（附）なげ節（富山）／飛騨東照宮 おかめ舞獅子舞（岐阜）／白族の婚礼儀礼の芸能（中華人民共和国）

(4) 紀伊半島民俗芸能祭

- ・主 催 三重県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・尾鷲市教育委員会
- ・後 援 文化庁・全国民俗芸能保存振興市町村連盟・奈良県・和歌山県・三重県・尾鷲市・紀伊長島町教育委員会・海山町教育委員会・上北山村教育委員会・大塔村教育委員会・本宮町教育委員会・那智勝浦町教育委員会・小俣町教育委員会・尾鷲市文化協会

- ・期 日 平成14年10月27日(日) 13:00~16:40
- ・場 所 三重県尾鷲市 尾鷲市民文化会館(せぎやまホール)
- ・参加者 920人
- ・出演団体 三重県 矢浜神楽(尾鷲市)・共敬社羯鼓踊り(小俣町)・郷土民謡 尾鷲節(尾鷲市)
奈良県 阪本踊り(大塔村)・北山宮神楽(上北山村)
和歌山県 平治川の長刀踊り(本宮町)・高芝の獅子舞(那智勝浦町)
- ・附帯事業等 特別講演「民俗芸能伝承の現代的意義」 文化庁伝統文化課主任文化財調査員 斎藤裕嗣
写真展「紀伊半島の獅子舞」
三重県「伊勢太神楽」「敢国神社の獅子舞」
奈良県「曾禰の獅子舞」「天王の獅子舞」「多田組の獅子舞」「池田組の獅子舞」
和歌山県「野中の獅子舞」「寒川祭の獅子舞」

(5) 文化財保護強調週間行事(11月1日~7日)

① 三重県事業

行事等名	行事等の概要	場 所	期 間	参加者数
三重県文化財講習会	県内の文化財保護関係者等への文化財についての講習会	アスト津	11/5	115
斎宮跡第137次調査現地説明会	第137次調査現場の一般公開	斎宮跡史跡内	11/2	150
特別展「王朝人の四季」	特別展	斎宮歴史博物館	10/2~ 11/10	6,135
特別展「王朝人の四季」記念講演会	特別展に合わせた記念講演会	〃	11/3	86

② 市町村事業

市町村名	行事等名	行事等の概要	場 所	期 間	参加者数
津市	谷川士清出張講座	小学校4~6年生を対象として、谷川士清の業績・旧宅に関する学習を行うとともに、文化財保護に関する啓発を行った。	津市立安東小学校	11/6	40
	埋蔵文化財出張講座	中学校1年生を対象として、埋蔵文化財出張講座を開催し、埋蔵文化財の保護に関する啓発活動を行った。	津市立西橋内中学校	11/5	120
	文化財ロビー展	文化財保護に関する啓発の一環として、市役所1階とアスト津において文化財を展示した。(土師器、須恵器等)	津市役所・アスト津	11/1~ 11/7	-
松阪市	長谷川邸、三井家発祥の地等一般公開	応募した市民を対象に市内史跡を巡る。(案内者:文化課職員)	松阪商人の館・長谷川家・三井家発祥地	11/1	99
朝日町	開館五周年記念 朝日の歴史資料展-新収館蔵品を中心に-	開館より当館に寄贈・寄託して頂いた資料を展示	朝日町歴史博物館	11/2~ 12/1	400
嬉野町	古代体験イベント「ドングリまつり&昔のあそび」	勾玉づくりや古代染色といった古代の生活体験や、昔懐かしい遊びを通じて文化財愛護の精神を養う。	嬉野町ふるさと会館前公園	11/3	517

嬉野町	天白遺跡見学	国の史跡である天白遺跡において中勢地区派遣社会教育主事会を行い、文化財保護の意義や必要性について学ぶ。	嬉野町釜生田 天白遺跡	11/6	7
海山町	世界遺産啓発事業	世界遺産啓発チラシ、パンフレット、ポスターの掲示	町内各所・公民館・郷土資料館	11/1～ 11/7	—

(6) 文化財防火デー関連行事実施状況

県		市 町 村											小 計		
		市			町			村							
実施箇所数	実施件数	実施市数	実施箇所数	実施件数	実施町数	実施箇所数	実施件数	実施村数	実施箇所数	実施件数	実施数	実施箇所数	実施件数		
1	3	13	94	168	30	83	125	7	9	16	50	186	309		

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成15年3月31日現在

種 別		国	県	市町村	計
重要文化財 有形文化財	建造物	20	38	143	201
	絵画	19	27	88	134
	彫刻	63	92	255	410
	工芸品	17	50	182	249
	書跡・典籍・古文書	36	52	205	293
	考古資料	8	22	63	93
	歴史資料	3	1	22	26
無形文化財	工芸技術	1	1	4	6
	芸能	0	1	3	4
民俗文化財	無形民俗文化財	7	32	136	175
	有形民俗文化財	1	23	88	112
記念物	特別史跡	1	0	0	1
	特別天然記念物	2	0	0	2
	特別名勝及び天然記念物	1	0	0	1
	史跡	33	63	181	277
	史跡及び名勝	0	2	4	6
	史跡及び天然記念物	0	0	0	0
	名勝	4	8	6	18
	名勝及び史跡	2	0	0	2
	名勝及び天然記念物	0	1	1	2
	天然記念物（地域を定めず）	9	4	0	13
	天然記念物	17	79	132	228
天然記念物及び名勝	1	1	0	2	
小 計		245	497	1,513	2,255
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	0	0	1
文化財の保存技術		0	0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		14	6	0	20
登録文化財		46	0	0	46
合 計		306	503	1,513	2,322

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

三重県の文化財保護 — 平成14年度 —

●発行 / 2004. 3 ●編集 / 三重県教育委員会 ●印刷 / 伊藤印刷株式会社

この冊子は古紙配合率は100%、白色度82%の再生紙を使用しています。